大学番号：私011

注３

認可

［平成２９年度設置］

計画の区分：　学部の設置

注１

岩手医科大学　看護学部

注２

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人岩手医科大学
令和元年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名　看護学部教務課

職名・氏名　　課長　佐々木 寛人（ササキ ヒロト）

電話番号　　019-651-5110（内線5505）

（夜間）　　019-651-5111（代表）

ＦＡＸ　　019-698-1826

ｅ－mail　　kangokyomu@j.iwate-med.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「○○大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例）　○○大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学の設置の場合：「○○大学」
・学部の設置の場合：「○○大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「○○大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「○○大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院　○○研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院　○○研究科　○○専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「○○大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については、平成３１年４月２日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

＜看護学科＞　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２

４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４

６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３５

１　調査対象大学等の概要等

（１） 設　置　者

学校法人岩手医科大学

（２） 大　学　名

岩手医科大学

（３） 調査対象大学等の位置

〒028-3694
岩手県紫波郡矢巾町西徳田2-1-1

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４） 管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　　　考
理 事 長	（ オガワ　アキラ ） 小川　彰 （平成24年2月）		
学　　長	（ ソブエ　ケンジ ） 祖父江　憲治 （平成28年4月）		
学 部 長	（ シマモリ　ヨシコ ） 嶋森　好子 （平成29年4月）		
学科長等			

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成３０年度に報告済の内容　→（30）
令和元年度に報告する内容　→（元）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は、平成２７年度開設の４年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの５年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	4 年	90 人	年次 人 3年次 5	370 人	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	人 （　） ［　］	人	人 （　） ［　］	人	90 （－） ［－］	人	90 （－） ［－］	人	90 （５） ［－］	人	1.02　倍	－	
志願者数	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	308 （－） ［－］	（－） ［－］	293 （－） ［－］	（－） ［－］	243 （０） ［－］	（－） ［－］			
受験者数	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	290 （－） ［－］	（－） ［－］	285 （－） ［－］	（－） ［－］	231 （０） ［－］	（－） ［－］			
合格者数	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	142 （－） ［－］	（－） ［－］	139 （－） ［－］	（－） ［－］	141 （０） ［－］	（－） ［－］			
Ｂ　入学者数	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	95 （－） ［－］	（－） ［－］	93 （－） ［－］	（－） ［－］	90 （０） ［－］	（－） ［－］			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ					1.05		1.03		1.00				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年 ＼ 対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	95 [－] (－)	－ [－] (－)	93 [－] (－)	－ [－] (－)	90 [－] (－)	－ [－] (－)	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	95 [－] (－)	－ [－] (－)	93 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	95 [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	[－] (－)		[－] (－)		95 [－] (－)		188 [－] (－)		278 [－] (－)		

（注）・　報告年度の5月１日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で記入**してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 退学者数 うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
平成27年度	－ 人	－ 人	平成27年度	人	人	
平成28年度	－ 人	－ 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	95 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	188 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	278 人	0 人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合　計		0 人		0 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月１日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

平成27年度の退学者数(a) / 平成27年度の在学者数(b) ＝ － / － ＝ － %

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a) / 平成28年度の在学者数(b) ＝ － / － ＝ － %

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) / 平成29年度の在学者数(b) ＝ 0 / 95 ＝ 0 %

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) ＝ 0 / 188 ＝ 0 %

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) ＝ 0 / 278 ＝ 0 %

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜看護学部　看護学科＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
教養教育科目群	IPE関連科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1通	2								20
		チーム医療リテラシー	3前	1			3					15
		4学部合同セミナー	4前	1			7	1				21
		小計（3科目）	－	4	0	0	7	1	0	0	0	49
	教養教育科目	医療における社会・行動科学	1前	1								1
		基礎自然科学	1前	1				1				
		情報科学	1前	2								1
		健康運動科学	1前	2								4
		社会福祉	1前	1								1
		心理学	1前	1								1
		医療面接の基礎	1後	1								2
		生命倫理学	1後	1								1
		English Speaking & Listening	1後	1								4
		English Reading & Writing	1通	3								3
		医療英語	2前	1								2
		ベーシック生物	1前		1							3
		スタンダード生物	1前		1							3
		アドバンスト生物	1前		1							9
		自然・文化人類学	1前		1							6
		ベーシック化学	1前		1							1
		ベーシック物理	1前		1							3
		解析学入門	1前		1							1
		医療とスポーツ	1前		1							5
		文学の世界	1前		1							1
		道徳のしくみ	1前		1							1
		ベーシック数学	1前		1							2
		アドバンスト化学	1前		1							1
		医療とコミュニケーション	1前		1							4
		実践英語	1前		1							1
		医療と福祉	1前		1		1	1	1			9
		科学英語	1後		1							1
		英語学	1後		1							1
		医療と物語	1後		1							5
		人間関係論	1後		1							2
		パーソナリティ心理学	1後		1							1
		哲学の世界	1後		1							1
		医療と法律	1後		1							1
		小計（33科目）	－	15	22	0	1	2	1	0	0	50
専門科目群	看護専門基礎科目	栄養学	1後	1			1					
		生化学	1後	2				1				
		感染免疫学	1後	2					1			
		基礎解剖学	1通	2								1
		基礎生理学	1通	2								1
		病理学概論	1後	1								1
		薬理学	2前	2				1	1			
		臨床心理学	2前	1								1
		疾病論Ⅰ	2前	2			1					
		疾病論Ⅱ	2前	2								8
		疾病論Ⅲ	2後	2								9
		疾病論Ⅳ	2後	2								5
		医学・医療入門	1前	1			2	1	1			3
		公衆衛生学・疫学	3前	2								1
		保健統計学	3前	2								1
		小計（15科目）	－	26	0	0	2	2	2	0	0	30
	看護専門科目 基礎看護学	看護学概論	1前	2			3	2				
		看護倫理学	3前	1			1		1			
		基礎看護学Ⅰ	1前	1			1		1	5		
		基礎看護学Ⅱ	1後	1			1		1	5		
		基礎看護学Ⅲ	1後	1					1	5		
		基礎看護学Ⅳ	1後	2			1					
		基礎看護学Ⅴ	2前	2			1		1	5		
	看護専門科目 成人看護学	成人看護学概論	2前	1				1	1			
		成人看護方法論Ⅰ	2前	2					1	1		
		成人看護方法論Ⅱ	2前	2				1				
		成人看護学演習Ⅰ	2前	1					1	2	1	
		成人看護学演習Ⅱ	3前	1				1		2	1	

【令和元年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
教養教育科目群	IPE関連科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1通	2								25
		チーム医療リテラシー	3前	1			3					42
		4学部合同セミナー	4前	1			8	1				20
		小計（3科目）	－	4	0	0	8	1	0	0	0	71
	教養教育科目	医療における社会・行動科学	1前	1								1
		基礎自然科学	1前	1				1				
		情報科学	1前	2								1
		健康運動科学	1前	2								4
		社会福祉	1前	1								1
		心理学	1前	1								1
		医療面接の基礎	1後	1								2
		生命倫理学	1後	1								1
		English Speaking & Listening	1後	1								4
		English Reading & Writing	1通	3								3
		医療英語	2前	1								2
		ベーシック生物	1前		1							4
		スタンダード生物	1前		1							4
		アドバンスト生物	1前		1							10
		自然・文化人類学	1前		1							7
		ベーシック化学	1前		1							1
		ベーシック物理	1前		1							3
		解析学入門	1前		1							1
		医療とスポーツ	1前		1							3
		文学の世界	1前		1							1
		道徳のしくみ	1前		1							1
		ベーシック数学	1前		1							2
		アドバンスト化学	1前		1							1
		医療とコミュニケーション	1前		1							5
		実践英語	1前		1							1
		医療と福祉	1前		1		1	1	1			10
		科学英語	1後		1							1
		英語学	1後		1							1
		医療と物語	1後		1							12
		人間関係論	1後		1							2
		パーソナリティ心理学	1後		1							3
		哲学の世界	1後		1							1
		医療と法律	1後		1							1
		小計（33科目）	－	15	22	0	1	2	1	0	0	59
専門科目群	看護専門基礎科目	栄養学	1後	1			1					
		生化学	1後	2				1				
		感染免疫学	1後	2					1			
		基礎解剖学	1通	2								1
		基礎生理学	1通	2								1
		病理学概論	1後	1								3
		薬理学	2前	2				1	1			
		臨床心理学	2前	1								2
		疾病論Ⅰ	2前	2			1					
		疾病論Ⅱ	2前	2								8
		疾病論Ⅲ	2後	2								9
		疾病論Ⅳ	2後	2								5
		医学・医療入門	1前	1			2	1	1			4
		公衆衛生学・疫学	3前	2								1
		保健統計学	3前	2								1
		小計（15科目）	－	26	0	0	2	2	2	0	0	34
	看護専門科目 基礎看護学	看護学概論	1前	2			3	2				
		看護倫理学	3前	1			1		1			
		基礎看護学Ⅰ	1前	1			1		1	5		
		基礎看護学Ⅱ	1後	1			1		1	5		
		基礎看護学Ⅲ	1後	1					1	5		
		基礎看護学Ⅳ	1後	2			1					
		基礎看護学Ⅴ	2前	2			1		1	5		
	看護専門科目 成人看護学	成人看護学概論	2前	1				1	1			
		成人看護方法論Ⅰ	2前	2					1	1		
		成人看護方法論Ⅱ	2前	2				1				
		成人看護学演習Ⅰ	2前	1					1	2	1	
		成人看護学演習Ⅱ	3前	1				1		2	1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
専門科目群 看護専門科目 老年看護学	老年看護学概論	2前	1				1				
	老年看護方法論	2後	2				1				
	老年看護学演習	3前	1				1		1	1	
小児看護学	小児看護学概論	2前	1			1					
	小児看護方法論	2後	2			1		1			
	小児看護学演習	3前	1			1		1		1	
母性看護学	母性看護学概論	2前	1			1					
	母性看護方法論	2後	2			1		2			
	母性看護学演習	3前	1			1		2	1	1	
精神看護学	精神看護学概論	2前	1			1					
	精神看護方法論	2後	2			1		2			
	精神看護学演習	3前	1			1		2			
在宅看護学	地域看護学Ⅰ	1前	1			1					
	地域看護学Ⅱ	3前	2			1					
	地域看護学方法論	3前	1			1		1			
	地域看護学展開論	3前	1			1		1	1		
	在宅看護学概論	2前	1			1					
	在宅看護方法論	2後	2					1	1		
	在宅看護学演習	3前	1			1		2	2	1	
看護の統合と実践	災害ケア論	1前	1			1					1
	国際看護学	2前	1			1			1		
	看護研究入門	2前	1			1					
	医療安全論	2後	1			1					
	緩和ケア論	2後	1								1
	看護政策論	4前	1			1					
	看護管理学	4前	1			1					
	看護研究	4前	1			7	3	9	2		
臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1後	2			3	1	4	5	2	
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	1			1	1	2	7	1	
	成人看護学慢性期・回復期実習	3後	3					1	2		
	成人看護学急性期実習	3後	3				1		2	1	
	老年看護学実習	3後～4前	4				1		1	1	
	小児看護学実習	3後～4前	2			1		1		1	
	母性看護学実習	3後～4前	2			1		2	1	1	
	精神看護学実習	3後～4前	2			1		2			
	在宅看護学実習	3後～4前	2			1		2	2	1	
	統合看護実習	4後	2			6	2	9	11	5	
	小計（49科目）	–	73	0	0	7	3	9	11	5	2
発展科目	医療情報論	3・4前		1							1
	先端医療論	3・4前		1							7
	災害医療論	3・4前		1							1
	家族ケア論	4前		1		1					
	看護教育論	4前		1							1
	メンタルヘルスケア論	4前		1		1					
	小計（6科目）	–	0	6	0	2	0	0	0	0	10
公衆衛生看護学関連科目群	保健医療福祉行政論	3前		1		1					
	公衆衛生看護方法論	3後		2		1		3	2	1	2
	公衆衛生看護展開論	3後		2		1		2	2	1	1
	公衆衛生看護管理論Ⅰ	4前		2		1		2	2	1	
	公衆衛生看護管理論Ⅱ	4前		1		1					
	公衆衛生看護学実習	4後		3		1		2	2	1	
	日本国憲法	2後		2							1
	小計（7科目）	–	0	13	0	1	0	3	2	1	4
助産看護学関連科目群	助産学概論	3前		2		1					
	助産診断技術学Ⅰ	3後		1		1		1			
	助産診断技術学Ⅱ	3後		2		1		1			
	助産診断技術学Ⅲ	3後		1		1		2			
	助産診断技術学Ⅳ	4前		2		1		2	1	1	
	助産診断技術学Ⅴ	4後		2		1		2			
	地域母子保健	4後		1		1		2			
	助産管理学	4後		1		1					
	助産学実習Ⅰ	4後		2		1		2	1		
	助産学実習Ⅱ	4後		8		1		2	1	1	
	小計（10科目）	–	0	22	0	1	0	2	1	1	0
自由科目	看護研究実践演習	4後	0	0	1	7	2	9	0	0	0
	小計（1科目）	–	0	0	1	7	2	9	0	0	0
合計（124科目）		–	118	63	1	7	3	10	11	5	109

卒業要件及び履修方法

「教養教育科目群」から23単位（必修19単位、選択4単位）、「専門科目群」から101単位以上（必修99単位、選択2単位以上）、合計124単位以上を取得すること。
保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて137単位以上を取得すること。
助産師国家試験受験資格取得のためには、「助産看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて146単位以上を取得すること。
（履修科目の登録の上限：45単位（年間））

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
専門科目群 看護専門科目 老年看護学	老年看護学概論	2前	1				1				
	老年看護方法論	2後	2				1				
	老年看護学演習	3前	1				1		1	1	
小児看護学	小児看護学概論	2前	1			1					
	小児看護方法論	2後	2			1		1			
	小児看護学演習	3前	1			1		1		1	
母性看護学	母性看護学概論	2前	1			1					
	母性看護方法論	2後	2			1		2			
	母性看護学演習	3前	1			1		2	1	1	
精神看護学	精神看護学概論	2前	1			1					
	精神看護方法論	2後	2			1		2			
	精神看護学演習	3前	1			1		2			
在宅・地域看護学	地域看護学Ⅰ	1前	1			1					
	地域看護学Ⅱ	3前	2					1			
	地域看護学方法論	3前	1					2			
	地域看護学展開論	3前	1					1	1		
	在宅看護学概論	2前	1			1					
	在宅看護方法論	2後	2			1			1		
	在宅看護学演習	3前	1			2		2	2	1	
看護の統合と実践	災害ケア論	1前	1			1					1
	国際看護学	2前	1			1			1		
	看護研究入門	2前	1			1					
	医療安全論	2後	1			1					
	緩和ケア論	2後	1								5
	看護政策論	4前	1			1					
	看護管理学	4前	1			1					
	看護研究	4前	1			8	3	9	2		
臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1			3	1	3	6	2	
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			2	1	4	7	1	
	成人看護学慢性期・回復期実習	3後	3					1	2		
	成人看護学急性期実習	3後	3				1		2	1	
	老年看護学実習	3後～4前	4				1		1	1	
	小児看護学実習	3後～4前	2			1		1		1	
	母性看護学実習	3後～4前	2			1		2	1	1	
	精神看護学実習	3後～4前	2			1		2			
	在宅看護学実習	3後～4前	2			2		2	2	1	
	統合看護実習	4後	2			7	2	9	11	5	
	小計（49科目）	–	73	0	0	8	3	9	11	5	6
発展科目	医療情報論	3・4前		1							1
	先端医療論	3・4前		1							7
	災害医療論	3・4前		1							3
	家族ケア論	4前		1		1					
	看護教育論	4前		1							1
	メンタルヘルスケア論	4前		1		1					
	小計（6科目）	–	0	6	0	2	0	0	0	0	12
公衆衛生看護学関連科目群	保健医療福祉行政論	3前		1		1					
	公衆衛生看護方法論	3後		1		2		2	2	1	3
	公衆衛生看護展開論	3後		1		2		2	2	1	1
	公衆衛生看護管理論Ⅰ	4前		1		2		2	2	1	
	公衆衛生看護管理論Ⅱ	4前		1		1					
	公衆衛生看護学実習	4後		3		2		2	2	1	
	日本国憲法	2後		2							1
	小計（7科目）	–	0	10	0	2	0	2	2	1	5
助産看護学関連科目群	助産学概論	3前		1		1					
	助産診断技術学Ⅰ	3後		1		1		1			
	助産診断技術学Ⅱ	3後		1		1		1			
	助産診断技術学Ⅲ	3後		1		1		2			
	助産診断技術学Ⅳ	4前		2		1		2	1	1	
	助産診断技術学Ⅴ	4前		1		1		2			
	地域母子保健	4後		1		1		2			
	助産管理学	4後		1		1					
	助産学実習Ⅰ	4後		2		1		2	1		
	助産学実習Ⅱ	4後		8		1		2	1	1	
	小計（10科目）	–	0	19	0	1	0	2	1	1	0
自由科目	看護研究実践演習	4後			1	8	2	9			
	地域医療課題解決演習	1～4通			1						9
	小計（2科目）	–	0	0	2	8	2	9	0	0	9
合計（125科目）		–	118	57	2	8	3	10	11	5	147

卒業要件及び履修方法

「教養教育科目群」から23単位（必修19単位、選択4単位）、「専門科目群」から101単位以上（必修99単位、選択2単位以上）、合計124単位以上を取得すること。
保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて134単位以上を取得すること。
助産師国家試験受験資格取得のためには、「助産看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて143単位以上を取得すること。
（履修科目の登録の上限：45単位（年間））

【平成３０年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
教養教育科目群	IPE関連科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1通	2								25
		チーム医療リテラシー	3前	1			3					14
		4学部合同セミナー	4前	1			7	1				20
		小計（3科目）	–	4	0	0	7	1	0	0	0	53
	教養教育科目	医療における社会・行動科学	1前	1								1
		基礎自然科学	1前	1				1				
		情報科学	1前	2								1
		健康運動科学	1前	2								4
		社会福祉	1前	1								1
		心理学	1前	1								1
		医療面接の基礎	1後	1								2
		生命倫理学	1後	1								1
		English Speaking & Listening	1後	1								4
		English Reading & Writing	1通	3								3
		医療英語	2前	1								2
		ベーシック生物	1前		1							3
		スタンダード生物	1前		1							3
		アドバンスト生物	1前		1							10
		自然・文化人類学	1前		1							7
		ベーシック化学	1前		1							1
		ベーシック物理	1前		1							3
		解析学入門	1前		1							1
		医療とスポーツ	1前		1							5
		文学の世界	1前		1							1
		道徳のしくみ	1前		1							1
		ベーシック数学	1前		1							2
		アドバンスト化学	1前		1							1
		医療とコミュニケーション	1前		1							3
		実践英語	1前		1							1
		医療と福祉	1前		1		1	1	1			9
		科学英語	1後		1							1
		英語学	1後		1							1
		医療と物語	1後		1							5
		人間関係論	1後		1							2
		パーソナリティ心理学	1後		1							1
		哲学の世界	1後		1							1
		医療と法律	1後		1							1
		小計（33科目）	–	15	22	0	1	2	1	0	0	51
専門科目群	看護専門基礎科目	栄養学	1後	1			1					
		生化学	1後	2				1				
		感染免疫学	1後	2					1			
		基礎解剖学	1通	2								1
		基礎生理学	1通	2								1
		病理学概論	1後	1								3
		薬理学	2前	2				1	1			
		臨床心理学	2前	1								2
		疾病論Ⅰ	2前	2			1					
		疾病論Ⅱ	2前	2								8
		疾病論Ⅲ	2後	2								9
		疾病論Ⅳ	2後	2								5
		医学・医療入門	1前	1			2	1	1			3
		公衆衛生学・疫学	3前	2								1
		保健統計学	3前	2								1
		小計（15科目）	–	26	0	0	2	2	2	0	0	33
	看護専門科目 基礎看護学	看護学概論	1前	2			3	2				
		看護倫理学	3前	1			1		1			
		基礎看護学Ⅰ	1前	1			1		1	5		
		基礎看護学Ⅱ	1後	1			1		1	5		
		基礎看護学Ⅲ	1後	1					1	5		
		基礎看護学Ⅳ	1後	2			1					
		基礎看護学Ⅴ	2前	2			1		1	5		
	看護専門科目 成人看護学	成人看護学概論	2前	1				1	1			
		成人看護方法論Ⅰ	2前	2					1	1		
		成人看護方法論Ⅱ	2前	2				1				
		成人看護学演習Ⅰ	2前	1					1	2	1	
		成人看護学演習Ⅱ	3前	1				1		2	1	

【平成２９年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
教養教育科目群	IPE関連科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1通	2								25
		チーム医療リテラシー	3前	1			3					14
		4学部合同セミナー	4前	1			7	1				20
		小計（3科目）	–	4	0	0	7	1	0	0	0	53
	教養教育科目	医療における社会・行動科学	1前	1								1
		基礎自然科学	1前	1				1				
		情報科学	1前	2								1
		健康運動科学	1前	2								4
		社会福祉	1前	1								1
		心理学	1前	1								1
		医療面接の基礎	1後	1								2
		生命倫理学	1後	1								1
		English Speaking & Listening	1後	1								4
		English Reading & Writing	1通	3								3
		医療英語	2前	1								2
		ベーシック生物	1前		1							3
		スタンダード生物	1前		1							3
		アドバンスト生物	1前		1							9
		自然・文化人類学	1前		1							6
		ベーシック化学	1前		1							1
		ベーシック物理	1前		1							3
		解析学入門	1前		1							1
		医療とスポーツ	1前		1							5
		文学の世界	1前		1							1
		道徳のしくみ	1前		1							1
		ベーシック数学	1前		1							2
		アドバンスト化学	1前		1							1
		医療とコミュニケーション	1前		1							4
		実践英語	1前		1							1
		医療と福祉	1前				1	1	1			9
		科学英語	1後									1
		英語学	1後									1
		医療と物語	1後									5
		人間関係論	1後									2
		パーソナリティ心理学	1後									1
		哲学の世界	1後									1
		医療と法律	1後									1
		小計（33科目）	–	15	22	0	1	2	1	0	0	50
専門科目群	看護専門基礎科目	栄養学	1後	1			1					
		生化学	1後	2				1				
		感染免疫学	1後	2					1			
		基礎解剖学	1通	2								1
		基礎生理学	1通	2								1
		病理学概論	1後	1								1
		薬理学	2前	2				1	1			
		臨床心理学	2前	1								1
		疾病論Ⅰ	2前	2			1					
		疾病論Ⅱ	2前	2								8
		疾病論Ⅲ	2後	2								8
		疾病論Ⅳ	2後	2								5
		医学・医療入門	1前	1			2	1	1			3
		公衆衛生学・疫学	3前	2								1
		保健統計学	3前	2								1
		小計（15科目）	–	26	0	0	2	2	2	0	0	29
	看護専門科目 基礎看護学	看護学概論	1前	2			3	2				
		看護倫理学	3前	1			1		1			
		基礎看護学Ⅰ	1前	1			1		1	5		
		基礎看護学Ⅱ	1後	1			1		1	5		
		基礎看護学Ⅲ	1後	1					1	5		
		基礎看護学Ⅳ	1後	2			1					
		基礎看護学Ⅴ	2前	2			1		1	5		
	看護専門科目 成人看護学	成人看護学概論	2前	1				1	1			
		成人看護方法論Ⅰ	2前	2					1	1		
		成人看護方法論Ⅱ	2前	2				1				
		成人看護学演習Ⅰ	2前	1					1	2	1	
		成人看護学演習Ⅱ	3前	1				1		2	1	

【平成３０年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
専門科目群	看護専門科目	老年看護学	老年看護学概論	2前	1				1				
			老年看護方法論	2後	2				1				
			老年看護学演習	3前	1				1		1	1	
		小児看護学	小児看護学概論	2前	1			1					
			小児看護方法論	2後	2			1		1			
			小児看護学演習	3前	1			1		1		1	
		母性看護学	母性看護学概論	2前	1			1					
			母性看護方法論	2後	2			1		2			
			母性看護学演習	3前	1			1		2	1	1	
	看護専門科目	精神看護学	精神看護学概論	2前	1			1					
			精神看護方法論	2後	2			1		2			
			精神看護学演習	3前	1			1		2			
		在宅・地域看護学	地域看護学Ⅰ	1前	1			1					
			地域看護学Ⅱ	3前	2			1					
			地域看護学方法論	3前	1			1		1			
			地域看護学展開論	3前	1			1		1	1		
			在宅看護学概論	2前	1			1					
			在宅看護方法論	2後	2					1	1		
			在宅看護学演習	3前	1			1		2	2	1	
		看護の統合と実践	災害ケア論	1前	1			1					1
			国際看護学	2前	1			1			1		
			看護研究入門	2前	1			1					
			医療安全論	2後	1			1					
			緩和ケア論	2後	1								5
			看護政策論	4前	1			1					
			看護管理学	4前	1			1					
			看護研究	4前	1			7	3	9	2		
		臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1			3	1	4	5	2	
			基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			2	1	4	7	1	
			成人看護学慢性期・回復期実習	3後	3					1	2		
			成人看護学急性期実習	3後	3				1		2	1	
			老年看護学実習	3後～4前	4				1		1	1	
			小児看護学実習	3後～4前	2			1		1		1	
			母性看護学実習	3後～4前	2			1		2	1	1	
			精神看護学実習	3後～4前	2			1		2			
			在宅看護学実習	3後～4前	2			1		2	2	1	
			統合看護実習	4後	2			6	2	9	11	5	
		小計（49科目）		－	73	0	0	7	3	9	11	5	6
	発展科目		医療情報論	3・4前		1							1
			先端医療論	3・4前		1							7
			災害医療論	3・4前		1							1
			家族ケア論	4前		1		1					
			看護教育論	4前		1							1
			メンタルヘルスケア論	4前		1		1					
			小計（6科目）	－	0	6	0	2	0	0	0	0	10
公衆衛生看護学関連科目群			保健医療福祉行政論	3前		1		1					
			公衆衛生看護方法論	3後		2		1		3	2	1	2
			公衆衛生看護展開論	3後		2		1		2	2	1	1
			公衆衛生看護管理論Ⅰ	4前		2		1		2	2	1	
			公衆衛生看護管理論Ⅱ	4前		1		1					
			公衆衛生看護学実習	4後		3		1		2	2	1	
			日本国憲法	2後		2							1
			小計（7科目）	－	0	13	0	1	0	3	2	1	4
助産看護学関連科目群			助産学概論	3前		2		1					
			助産診断技術学Ⅰ	3後		1		1		1			
			助産診断技術学Ⅱ	3後		2		1		1			
			助産診断技術学Ⅲ	3後		1		1		2			
			助産診断技術学Ⅳ	4前		2		1		2	1	1	
			助産診断技術学Ⅴ	4後		2		1		2			
			地域母子保健	4後		1		1		2			
			助産管理学	4後		1		1					
			助産学実習Ⅰ	4後		2		1		2	1		
			助産学実習Ⅱ	4後		8		1		2	1	1	
			小計（10科目）	－	0	22	0	1	0	2	1	1	0
自由科目			看護研究実践演習	4後			1	7	2	9			
			地域医療課題解決演習	1～4通			1						3
			小計（2科目）	－	0	0	2	7	2	9	0	0	3
合計（125科目）				－	118	63	2	7	3	10	11	5	118

卒業要件及び履修方法

「教養教育科目群」から23単位（必修19単位、選択4単位）、「専門科目群」から101単位以上（必修99単位、選択2単位以上）、合計124単位以上を取得すること。
　保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて137単位以上を取得すること。
　助産師国家試験受験資格取得のためには、「助産看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて146単位以上を取得すること。
（履修科目の登録の上限：45単位（年間））

【平成２９年度】

科目区分			授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
専門科目群	看護専門科目	老年看護学	老年看護学概論	2前	1				1				
			老年看護方法論	2後	2				1				
			老年看護学演習	3前	1				1		1	1	
		小児看護学	小児看護学概論	2前	1			1					
			小児看護方法論	2後	2			1		1			
			小児看護学演習	3前	1			1		1		1	
		母性看護学	母性看護学概論	2前	1			1					
			母性看護方法論	2後	2			1		2			
			母性看護学演習	3前	1			1		2	1	1	
	看護専門科目	精神看護学	精神看護学概論	2前	1			1					
			精神看護方法論	2後	2			1		2			
			精神看護学演習	3前	1			1		2			
		在宅・地域看護学	地域看護学Ⅰ	1前	1			1					
			地域看護学Ⅱ	3前	2			1					
			地域看護学方法論	3前	1			1		1			
			地域看護学展開論	3前	1			1		1	1		
			在宅看護学概論	2前	1			1					
			在宅看護方法論	2後	2					1	1		
			在宅看護学演習	3前	1			1		2	2	1	
		看護の統合と実践	災害ケア論	1前	1			1					1
			国際看護学	2前	1			1			1		
			看護研究入門	2前	1			1					
			医療安全論	2後	1			1					
			緩和ケア論	2後	1								1
			看護政策論	4前	1			1					
			看護管理学	4前	1			1					
			看護研究	4前	1			7	3	9	2		
		臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1			3	1	4	5	2	
			基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			1	1	2	7	1	
			成人看護学慢性期・回復期実習	3後	3					1	2		
			成人看護学急性期実習	3後	3				1		2	1	
			老年看護学実習	3後～4前	4				1		1	1	
			小児看護学実習	3後～4前	2			1		1		1	
			母性看護学実習	3後～4前	2			1		2	1	1	
			精神看護学実習	3後～4前	2			1		2			
			在宅看護学実習	3後～4前	2			1		2	2	1	
			統合看護実習	4後	2			6	2	9	11	5	
		小計（49科目）		－	73	0	0	7	3	9	11	5	2
	発展科目		医療情報論	3・4前		1							1
			先端医療論	3・4前		1							7
			災害医療論	3・4前		1							1
			家族ケア論	4前		1		1					
			看護教育論	4前		1							1
			メンタルヘルスケア論	4前		1		1					
			小計（6科目）	－	0	6	0	2	0	0	0	0	10
公衆衛生看護学関連科目群			保健医療福祉行政論	3前		1		1					
			公衆衛生看護方法論	3後		2		1		3	2	1	2
			公衆衛生看護展開論	3後		2		1		2	2	1	1
			公衆衛生看護管理論Ⅰ	4前		2		1		2	2	1	
			公衆衛生看護管理論Ⅱ	4前		1		1					
			公衆衛生看護学実習	4後		3		1		2	2	1	
			日本国憲法	2後		2							1
			小計（7科目）	－	0	13	0	1	0	3	2	1	4
助産看護学関連科目群			助産学概論	3前		2		1					
			助産診断技術学Ⅰ	3後		1		1		1			
			助産診断技術学Ⅱ	3後		2		1		1			
			助産診断技術学Ⅲ	3後		1		1		2			
			助産診断技術学Ⅳ	4前		2		1		2	1	1	
			助産診断技術学Ⅴ	4後		2		1		2			
			地域母子保健	4後		1		1		2			
			助産管理学	4後		1		1					
			助産学実習Ⅰ	4後		2		1		2	1		
			助産学実習Ⅱ	4後		8		1		2	1	1	
			小計（10科目）	－	0	22	0	1	0	2	1	1	0
自由科目			看護研究実践演習	4後	0	0	1	7	2	9	0	0	0
			小計（1科目）	－	0	0	1	7	2	9	0	0	0
合計（124科目）				－	118	63	1	7	3	10	11	5	109

卒業要件及び履修方法

「教養教育科目群」から23単位（必修19単位、選択4単位）、「専門科目群」から101単位以上（必修99単位、選択2単位以上）、合計124単位以上を取得すること。
　保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて137単位以上を取得すること。
　助産師国家試験受験資格取得のためには、「助産看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて146単位以上を取得すること。
（履修科目の登録の上限：45単位（年間））

（注）・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。
その上で，認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と平成３０年度の表を記入してください。
・　不要な年度（平成２８年度開設であれば平成２７年度、平成２９年度開設であれば平成２７年度及び平成２８年度、
平成３０年度開設であれば平成２７年度から平成２９年度）の表は適宜削除し，詰めてください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成２９年度】

・教育内容充実のため兼担教員５名を追加したことに伴い、「多職種連携のためのアカデミックリテラシー」の教員配置を「兼任・兼担２０」から「兼任・兼担２５」に変更。
・兼担教員１名退職による就任辞退に伴い、「チーム医療リテラシー」の教員配置を「兼任・兼担１５」から「兼任・兼担１４」へ、「４学部合同セミナー」の教員配置を「兼任・兼担２１」から「兼任・兼担２０」へそれぞれ変更（科目開講時までに後任教員を補充予定）。
・兼担教員１名退職による就任辞退に伴い、「疾病論Ⅲ」の教員配置を「兼任・兼担９」から「兼任・兼担８」に変更（科目開講時までに後任教員を補充予定）。
・留意事項３への対応に伴い、科目区分「在宅看護学」の名称を「在宅・地域看護学」に変更。
・留意事項４への対応に伴い、「基礎看護学実習Ⅰ」の単位数を「２」から「１」へ、「基礎看護学実習Ⅱ」の単位数を「１」から「２」へそれぞれ変更。

【平成３０年度】

・教育内容充実のため兼担教員１名を追加したことに伴い、「アドバンスト生物」の教員配置を「兼任・兼担９」から「兼任・兼担１０」に変更。
・授業運営上の都合により兼任教員１名を追加したことに伴い、「自然・文化人類学」の教員配置を「兼任・兼担６」から「兼任・兼担７」に変更。
・兼任教員１名就任辞退に伴い、「医療とコミュニケーション」の教員配置を「兼任・兼担４」から「兼任・兼担３」に変更。なお、共同担当者である兼担教員が担当するため、授業運営上の支障はない。
・教育内容の充実のため兼担教員２名を追加したことに伴い、「病理学概論」の教員配置を「兼任・兼担１」から「兼任・兼担３」に変更。
・教育内容の充実のため兼任教員１名を追加したことに伴い、「臨床心理学」の教員配置を「兼任・兼担１」から「兼任・兼担２」に変更。
・兼担教員退職による後任教員の補充として兼担教員１名を追加したことに伴い、「疾病論Ⅲ」の教員配置を「兼任・兼担８」から「兼任・兼担９」に変更（平成２９年度から１名追加）。
・教育内容の充実のため兼任教員４名を追加したことに伴い、「緩和ケア論」の教員配置を「兼任・兼担１」から「兼任・兼担５」に変更。
・留意事項６への対応に伴い、教員の補充を必要とされた「看護研究」に専任教員１名（教授）を配置（平成29年8月教員審査済み）。なお、当該教員は、設置時の計画より同科目を担当することとしていたため、専任教員等の配置人数は変更なし。
・留意事項４への対応に伴い、指導体制の充実を図るため、「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」、「講師２」から「講師４」にそれぞれ変更（平成29年8月教員審査済み）。
・教育課程の充実を図るため、新規科目として「地域医療課題解決演習」（科目区分：自由科目、配当年次：１～４通、単位数：１（自由）、教員配置：兼任・兼担３）を追加（学則変更の届出を提出済み）。

【令和元年度】

・兼担教員１名退職による就任辞退および教育内容充実のため兼担教員29名を追加したことに伴い、「チーム医療リテラシー」の教員配置を「兼任・兼担14」から「兼任・兼担42」に変更。
・専任教員１名の新規採用に伴い、「４学部合同セミナー」の専任教員等の配置を「教授７」から「教授８」に変更（平成30年8月教員審査済み）。
・教育内容充実のため兼担教員１名を追加したことに伴い、「ベーシック生物」の教員配置を「兼任・兼担３」から「兼任・兼担４」に変更。
・教育内容充実のため兼担教員１名を追加したことに伴い、「スタンダード生物」の教員配置を「兼任・兼担３」から「兼任・兼担４」に変更。
・兼任教員２名就任辞退に伴い、「医療とスポーツ」の教員配置を「兼任・兼担５」から「兼任・兼担３」に変更。なお、共同担当者である兼担教員が担当するため、授業運営上の支障はない。
・兼担教員１名退職による就任辞退および教育内容充実のため兼担教員１名および兼任教員２名を追加したことに伴い、「医療とコミュニケーション」の教員配置を「兼任・兼担３」から「兼任・兼担５」に変更。
・兼担教員１名の退職による就任辞退および兼任教員２名の就任辞退のため兼任教員４名を追加したことに伴い、「医療と福祉」の教員配置を「兼任・兼担９」から「兼任・兼担10」に変更。
・教育内容充実のため兼担教員３名および兼任教員４名を追加したことに伴い、「医療と物語」の教員配置を「兼任・兼担５」から「兼任・兼担12」に変更。
・教育内容充実のため兼担教員１名および兼任教員１名を追加したことに伴い、「パーソナリティ心理学」の教員配置を「兼任・兼担１」から「兼任・兼担３」に変更。
・教育内容充実のため兼担教員１名を追加したことに伴い、「医学・医療入門」の教員配置を「兼任・兼担３」から「兼任・兼担４」に変更。
・専任教員の新規採用に伴い、「地域看護学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「講師１」に変更（平成30年12月教員審査済み）。
・専任教員の新規採用に伴い、「地域看護学方法論」の専任教員等の配置を「教授１、講師１」から「講師２」に変更（平成30年12月教員審査済み）。
・科目担当の見直しに伴い、「地域看護学展開論」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授０」に変更（後任の担当教員は、平成30年12月に教員審査済み）。
・専任教員の所属異動および専任教員の新規採用に伴い、「在宅看護方法論」の専任教員等の配置を「講師１」から「教授１」に変更（平成30年8月教員審査済み）。
・専任教員の新規採用に伴い、「在宅看護学演習」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」に変更（平成30年8月教員審査済み）。
・専任教員の新規採用に伴い、「看護研究」の専任教員等の配置を「教授７」から「教授８」に変更（平成30年8月教員審査済み）。
・専任教員の所属異動および科目担当の見直しに伴い、「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師４、助教５」から「講師３、助教６」に変更（平成30年8月教員審査済み）。
・専任教員の新規採用に伴い、「在宅看護学実習」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」に変更（平成30年8月教員審査済み）。
・専任教員の新規採用に伴い、「統合看護実習」の専任教員等の配置を「教授６」から「教授７」に変更（平成30年8月教員審査済み）。
・教育内容充実のため兼担教員２名を追加したことに伴い、「災害医療論」の教員配置を「兼任・兼担１」から「兼任・兼担３」に変更。
・留意事項５への対応に伴い、「公衆衛生看護方法論」、「公衆衛生看護展開論」、「公衆衛生看護管理論Ⅰ」、「助産学概論」、「助産診断技術学Ⅱ」、「助産診断技術学Ⅴ」の単位数をそれぞれ「２」から「１」へ変更（看護師学校等変更承認申請書（平成30年8月承認）および学則変更の届出（平成31年３月届出）を提出済み）。併せて、「卒業要件及び履修方法」における保健師国家試験受験資格取得に係る単位数を137単位から134単位に、助産師国家試験受験資格取得に係る単位数を146単位から143単位にそれぞれ変更。
・留意事項５への対応に伴い、「公衆衛生看護方法論」の専任教員等の配置を「教授１、講師３、兼任・兼担２」から「教授２、講師２、兼任・兼担３」にそれぞれ変更（平成30年8月および平成30年12月教員審査済み）。
・留意事項５への対応に伴い、「公衆衛生看護展開論」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」に変更（平成30年8月教員審査済み）。
・留意事項５への対応に伴い、「公衆衛生看護管理論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１」から「教授２」に変更（平成30年8月教員審査済み）。
・学生負担の軽減を図るため開講時期を見直したことに伴い、「助産診断技術学Ⅴ」の配当年次を「4後」から「4前」に変更（看護師学校等変更届出書（平成31年３月届出）を提出済み）。
・専任教員の新規採用に伴い、「看護研究実践演習」の専任教員等の配置を「教授７」から「教授８」に変更（平成30年8月教員審査済み）。
・教育内容充実のため兼担教員６名を追加したことに伴い、「地域医療課題解決演習」の教員配置を「兼任・兼担３」から「兼任・兼担９」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
78 科目	45 科目	1 科目	124 科目	78 科目 [ ]	45 科目 [ ]	2 科目 [1]	125 科目 [1]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，［　］内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目　**「該当なし」**

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目　**「該当なし」**

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」
「該当なし」

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{124} = 0\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	380,536.23 ㎡ ~~390,917.79~~ ㎡ ~~390,917.78~~ ㎡ ~~399,834.21~~ ㎡	0 ㎡	0 ㎡	380,536.23 ㎡ ~~390,917.79~~ ㎡ ~~390,917.78~~ ㎡ ~~399,834.21~~ ㎡	矢巾キャンパス総合移転整備事業用地開発行為同意の条件のとおり、町道の拡幅工事に係る道路用地を矢巾町へ帰属（29） 分筆に伴う土地面積の増加（30） 地積更正に伴う面積減少、附属花巻温泉病院閉院に伴う「その他」への区分変更、駐車場整備に伴う「その他」への区分変更（元）
	運動場用地	92,313.78 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	92,313.78 ㎡	
	小計	472,850.01 ㎡ ~~483,231.57~~ ㎡ ~~483,231.56~~ ㎡ ~~492,147.99~~ ㎡	0 ㎡	0 ㎡	472,850.01 ㎡ ~~483,231.57~~ ㎡ ~~483,231.56~~ ㎡ ~~492,147.99~~ ㎡	
	その他	64,226.74 ㎡ ~~53,845.45~~ ㎡	0 ㎡	0 ㎡	64,226.74 ㎡ ~~53,845.45~~ ㎡	
	合計	537,076.75 ㎡ ~~537,077.02~~ ㎡ ~~537,077.01~~ ㎡ ~~545,993.44~~ ㎡	0 ㎡	0 ㎡	537,076.75 ㎡ ~~537,077.02~~ ㎡ ~~537,077.01~~ ㎡ ~~545,993.44~~ ㎡	

(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	備考
	118,532.62 ㎡ （118,532.62 ㎡）	0 ㎡ （0 ㎡）	0 ㎡ （0 ㎡）	118,532.62 ㎡ （118,532.62 ㎡）	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	28 室	74 室	33 室	2 室 （補助職員 0 人）	0 室 （補助職員 0 人）	大学全体

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	看護学部　看護学科	23 室	一部共同部屋

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕 冊	学術雑誌〔うち外国書〕 種	学術雑誌 電子ジャーナル〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	看護学部	2,581〔249〕 ~~247~~ ~~2,556~~〔~~241~~〕 （2,581〔249〕） （~~2,075~~〔~~247~~〕） （~~1,256~~〔~~101~~〕）	116 ~~109~~ ~~105~~〔14〕 （116　） （~~109~~　） （~~105~~〔14〕）	79 ~~77~~ ~~73~~〔13〕 （79　） （~~77~~　） （~~73~~〔13〕）	158 ~~110~~ ~~54~~ （158） （~~110~~） （~~14~~）	5,128 （5,128） （~~3,213~~）	15 （15） （~~8~~）	図書・設備の段階的整備による増加ならびに教育研究の充実のため図書・学術雑誌・視聴覚資料の増加（30） 図書・視聴覚資料の段階的整備ならびに教育の充実のため増加、電子ジャーナル収載タイトル数の増加（元）
	計	2,581〔249〕 ~~247~~ ~~2,556~~〔~~241~~〕 （2,581〔249〕） （~~2,075~~〔~~247~~〕） （~~1,256~~〔~~101~~〕）	116 ~~109~~ ~~105~~〔14〕 （116　） （~~109~~　） （~~105~~〔14〕）	79 ~~77~~ ~~73~~〔13〕 （79　） （~~77~~　） （~~73~~〔13〕）	158 ~~110~~ ~~54~~ （158） （~~110~~） （~~14~~）	5,128 （5,128） （~~3,213~~）	15 （15） （~~8~~）	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	5,112.38 ㎡	459 ~~457~~	277,972	閲覧席の増加（29）

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	備考
	5,513.56 ㎡	野球場2面、サッカー･ラグビー場2面、テニスコート12面	大学全体

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要		区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
	経費の見積り	教員１人当り研究費等	282千円	282千円	図書購入費	13,894千円	11,127千円	14,109千円
		共同研究費等	10,848千円	10,848千円	設備購入費	123,833千円	67,715千円	1,000千円

	学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
		1,650 千円	1,400 千円	1,400 千円	1,400 千円	－ 千円	－ 千円
	学生納付金以外の維持方法の概要	寄付金、研究助成金および補助金、雑収入　等					

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（元）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	岩手医科大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍		年度		
看護学部									−	
看護学科	4	90	3年次 5	370	学士（看護学）	1.02	－	平成29	岩手県紫波郡矢巾町西徳田2-1-1	
医学部										
医学科	6	123	3年次 7	766	学士（医学）	0.99	－	昭和23	岩手県盛岡市内丸19-1	
歯学部										
歯学科	6	73	－	438	学士（歯学）	0.70	－	昭和40	岩手県盛岡市中央通1-3-27	歯学部募集定員57名（定員超過率0.89倍）
薬学部										
薬学科	6	120	－	880	学士（薬学）	0.78	－	平成19	岩手県紫波郡矢巾町西徳田2-1-1	
大学全体	－	406	12	2,454	－	0.87	－	－	－	

大学の名称	岩手医科大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	年度	年度		
医学研究科										
生理系専攻	4	6	－	24	博士（医学）	0.16	－	昭和35	岩手県盛岡市内丸19-1	
病理系専攻	4	3	－	12	博士（医学）	0.66	－	昭和35	同上	
社会医学系専攻	4	2	－	8	博士（医学）	4.37	－	昭和35	同上	
内科系専攻	4	20	－	80	博士（医学）	0.46	－	昭和35	同上	
外科系専攻	4	19	－	76	博士（医学）	0.69	－	昭和35	同上	
医科学専攻	2	10	－	20	修士（医科学）	0.35	－	平成16	同上	
歯学研究科										
歯学専攻	4	18	－	72	博士（歯学）	0.45	－	昭和58	岩手県盛岡市中央通1-3-27	
薬学研究科										
医療薬学専攻	4	3	－	12	博士（薬学）	0.91		平成25	岩手県紫波郡矢巾町西徳田2-1-1	
薬科学専攻	2	3	－	6	修士（薬科学）	0.16		平成25	同上	
大学院全体	－	84	－	310	－	0.91	－	－	－	

大学の名称	岩手看護短期大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍				
看護学科	3	－	－	－	短期大学士（看護学）	－	－	平成2	岩手県滝沢市大釜千が窪14番地1	平成29年より学生募集停止
大学全体	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

５　教員組織の状況

＜看護学部　看護学科＞

（１）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	嶋森　好子 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護倫理学 ※ 医療安全論 看護管理学 看護研究 ※ 統合看護実習 看護研究実践演習
専	教授	三浦　まゆみ ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅳ 基礎看護学Ⅴ ※ 災害ケア論 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 家族ケア論 看護研究実践演習
専	教授	末安　民生 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 精神看護学概論 精神看護方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 精神看護学実習 統合看護実習 メンタルヘルスケア論 看護研究実践演習
専	教授	野村　陽子 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 医療と福祉 ※ 地域看護学Ⅰ 地域看護学Ⅱ 地域看護学方法論 ※ 地域看護学展開論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護学演習 看護政策論 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 保健医療福祉行政論 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護管理論Ⅱ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
専	教授	髙橋　亮 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 小児看護学概論 小児看護方法論 ※ 小児看護学演習 国際看護学 ※ 看護研究入門 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 小児看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	教授	蛎崎　奈津子 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 母性看護学概論 母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護学実習 統合看護実習 助産学概論 助産診断技術学Ⅰ ※ 助産診断技術学Ⅱ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※ 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産診断技術学Ⅴ ※ 地域母子保健 ※ 助産管理学 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 看護研究実践演習

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	嶋森　好子 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護倫理学 ※ 医療安全論 看護管理学 看護研究 ※ 統合看護実習 看護研究実践演習
専	教授	三浦　まゆみ ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅳ 基礎看護学Ⅴ ※ 災害ケア論 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 家族ケア論 看護研究実践演習
専	教授	末安　民生 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 精神看護学概論 精神看護方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 精神看護学実習 統合看護実習 メンタルヘルスケア論 看護研究実践演習
専	教授	野村　陽子 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 医療と福祉 ※ 地域看護学Ⅰ 地域看護学Ⅱ 地域看護学方法論 ※ 地域看護学展開論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護学演習 看護政策論 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 保健医療福祉行政論 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護管理論Ⅱ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
専	教授	髙橋　亮 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 小児看護学概論 小児看護方法論 ※ 小児看護学演習 国際看護学 ※ 看護研究入門 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 小児看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	教授	蛎崎　奈津子 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 母性看護学概論 母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護学実習 統合看護実習 助産学概論 助産診断技術学Ⅰ ※ 助産診断技術学Ⅱ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※ 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産診断技術学Ⅴ ※ 地域母子保健 ※ 助産管理学 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 看護研究実践演習

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	嶋森　好子 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護倫理学 ※ 医療安全論 看護管理学 看護研究 ※ 統合看護実習 看護研究実践演習
専	教授	三浦　まゆみ ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅳ 基礎看護学Ⅴ ※ 災害ケア論 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 家族ケア論 看護研究実践演習
専	教授	末安　民生 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 精神看護学概論 精神看護方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 精神看護学実習 統合看護実習 メンタルヘルスケア論 看護研究実践演習
専	教授	野村　陽子 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 医療と福祉 ※ 地域看護学Ⅰ 地域看護学Ⅱ 地域看護学方法論 ※ 地域看護学展開論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護学演習 看護政策論 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 保健医療福祉行政論 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護管理論Ⅱ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
専	教授	髙橋　亮 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 小児看護学概論 小児看護方法論 ※ 小児看護学演習 国際看護学 ※ 看護研究入門 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ **基礎看護学実習Ⅱ** 小児看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	教授	蛎崎　奈津子 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 母性看護学概論 母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護学実習 統合看護実習 助産学概論 助産診断技術学Ⅰ ※ 助産診断技術学Ⅱ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※ 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産診断技術学Ⅴ ※ 地域母子保健 ※ 助産管理学 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 看護研究実践演習

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	教授	嶋森　好子 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー ※ 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護倫理学 ※ 医療安全論 看護管理学 看護研究 ※ 統合看護実習 看護研究実践演習
専	教授	三浦　まゆみ ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅳ 基礎看護学Ⅴ ※ 災害ケア論 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 家族ケア論 看護研究実践演習
専	教授	末安　民生 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー ※ 4学部合同セミナー 精神看護学概論 精神看護方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 精神看護学実習 統合看護実習 メンタルヘルスケア論 看護研究実践演習
専	教授	野村　陽子 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 医療と福祉 ※ 地域看護学Ⅰ 在宅看護学演習 看護政策論 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 保健医療福祉行政論 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
専	教授	髙橋　亮 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 小児看護学概論 小児看護方法論 ※ 小児看護学演習 国際看護学 ※ 看護研究入門 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ **基礎看護学実習Ⅱ** 小児看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	教授	蛎崎　奈津子 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 母性看護学概論 母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護学実習 統合看護実習 助産学概論 助産診断技術学Ⅰ ※ 助産診断技術学Ⅱ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※ 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産診断技術学Ⅴ ※ 地域母子保健 ※ 助産管理学 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 看護研究実践演習

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	遠藤　龍人 ＜平成29年４月＞ チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 栄養学 疾病論Ⅰ 医学・医療入門 ※ 看護研究 ※ 看護研究実践演習
専	准教授	秋山　智弥 ＜平成29年４月＞ 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護学概論 ※ 成人看護学概論 ※ 成人看護方法論Ⅱ 成人看護学演習Ⅱ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学急性期実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	准教授	相馬　一二三 ＜平成30年４月＞ 医療と福祉 ※ 看護学概論 ※ 老年看護学概論 老年看護方法論 老年看護学演習 看護研究 ※ 老年看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
兼任	講師	相馬　一二三 ＜平成29年４月＞ 医療と福祉 ※ 看護学概論 ※
専	准教授	塚本　恭正 ＜平成29年４月＞ 基礎自然科学 生化学 薬理学 ※ 看護研究 ※
専	講師	三浦　幸枝 ＜平成30年４月＞ 医学・医療入門 ※ 成人看護学概論 ※ 成人看護方法論Ⅰ ※ 成人看護学演習Ⅰ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護実習 看護研究実践演習
兼任	講師	三浦　幸枝 ＜平成29年４月＞ 医学・医療入門 ※
専	講師	遠藤　太 ＜平成29年４月＞ 看護倫理学 ※ 精神看護方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 精神看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	講師	柏木　ゆきえ ＜平成29年４月＞ 基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 看護研究実践演習
専	講師	三宅　美智 ＜平成30年４月＞ 精神看護方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 精神看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	遠藤　龍人 ＜平成29年４月＞ チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 栄養学 疾病論Ⅰ 医学・医療入門 ※ 看護研究 ※ 看護研究実践演習
専	准教授	秋山　智弥 ＜平成29年４月＞ 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護学概論 ※ 成人看護学概論 ※ 成人看護方法論Ⅱ 成人看護学演習Ⅱ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学急性期実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	准教授	相馬　一二三 ＜平成30年４月＞ 医療と福祉 ※ 看護学概論 ※ 老年看護学概論 老年看護方法論 老年看護学演習 看護研究 ※ 老年看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
兼任	講師	相馬　一二三 ＜平成29年４月＞ 医療と福祉 ※ 看護学概論 ※
専	准教授	塚本　恭正 ＜平成29年４月＞ 基礎自然科学 生化学 薬理学 ※ 看護研究 ※
専	講師	三浦　幸枝 ＜平成30年４月＞ 医学・医療入門 ※ 成人看護学概論 ※ 成人看護方法論Ⅰ ※ 成人看護学演習Ⅰ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護実習 看護研究実践演習
兼任	講師	三浦　幸枝 ＜平成29年４月＞ 医学・医療入門 ※
専	講師	遠藤　太 ＜平成29年４月＞ 看護倫理学 ※ 精神看護方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 精神看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	講師	柏木　ゆきえ ＜平成29年４月＞ 基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 看護研究実践演習
専	講師	三宅　美智 ＜平成30年４月＞ 精神看護方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 精神看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	遠藤　龍人 ＜平成29年４月＞ チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 栄養学 疾病論Ⅰ 医学・医療入門 ※ 看護研究 ※ 看護研究実践演習
専	准教授	秋山　智弥 ＜平成29年４月＞ 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護学概論 ※ 成人看護学概論 ※ 成人看護方法論Ⅱ 成人看護学演習Ⅱ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学急性期実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	准教授	相馬　一二三 ＜平成30年４月＞ 医療と福祉 ※ 看護学概論 ※ 老年看護学概論 老年看護方法論 老年看護学演習 看護研究 ※ 老年看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	准教授	塚本　恭正 ＜平成29年４月＞ 基礎自然科学 生化学 薬理学 ※ 看護研究 ※
専	講師	三浦　幸枝 ＜平成30年４月＞ 医学・医療入門 ※ 成人看護学概論 ※ 成人看護方法論Ⅰ ※ 成人看護学演習Ⅰ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	講師	遠藤　太 ＜平成29年４月＞ 看護倫理学 ※ 精神看護方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ **基礎看護学実習Ⅱ** 精神看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	講師	柏木　ゆきえ ＜平成29年４月＞ 基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 看護研究実践演習
専	講師	三宅　美智 ＜平成30年４月＞ 精神看護方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ **基礎看護学実習Ⅱ** 精神看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	遠藤　龍人 ＜平成29年４月＞ チーム医療リテラシー ※ 4学部合同セミナー 栄養学 疾病論Ⅰ 医学・医療入門 ※ 看護研究 ※ 看護研究実践演習
専	准教授	秋山　智弥 ＜平成29年４月＞ 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護学概論 ※ 成人看護学概論 ※ 成人看護方法論Ⅱ 成人看護学演習Ⅱ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学急性期実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	准教授	相馬　一二三 ＜平成30年４月＞ 医療と福祉 ※ 看護学概論 ※ 老年看護学概論 老年看護方法論 老年看護学演習 看護研究 ※ 老年看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	准教授	塚本　恭正 ＜平成29年４月＞ 基礎自然科学 生化学 薬理学 ※ 看護研究 ※
専	講師	三浦　幸枝 ＜平成30年４月＞ 医学・医療入門 ※ 成人看護学概論 ※ 成人看護方法論Ⅰ ※ 成人看護学演習Ⅰ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	講師	遠藤　太 ＜平成29年４月＞ 看護倫理学 ※ 精神看護方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ **基礎看護学実習Ⅱ** 精神看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	講師	柏木　ゆきえ ＜平成29年４月＞ 基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 看護研究実践演習
専	講師	三宅　美智 ＜平成30年４月＞ 精神看護方法論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ **基礎看護学実習Ⅱ** 精神看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	講師	秋山　直美 ＜平成29年４月＞	地域看護学展開論 ※ 在宅看護方法論 ※ 在宅看護学演習 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
専	講師	大澤　扶佐子 ＜令和２年４月＞	地域看護学方法論 ※ 在宅看護学演習 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
兼任	講師	大澤　扶佐子 ＜平成31年４月＞	地域看護学方法論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※
専	講師	最上　玲子 ＜平成31年４月＞	医療と福祉 ※ 小児看護方法論 ※ 小児看護学演習 看護研究 ※ 小児看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 看護研究実践演習
兼任	講師	最上　玲子 ＜平成29年４月＞	医療と福祉 ※ 小児看護方法論 ※
専	講師	遊田　由希子 ＜平成29年４月＞	母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護学実習 統合看護実習 助産診断技術学Ⅱ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※ 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産診断技術学Ⅴ ※ 地域母子保健 ※ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 看護研究実践演習
専	講師	西里　真澄 ＜令和２年４月＞	母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 母性看護学実習 統合看護実習 助産診断技術学Ⅰ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※ 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産診断技術学Ⅴ ※ 地域母子保健 ※ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 看護研究実践演習
兼任	講師	西里　真澄 ＜平成30年４月＞	母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 母性看護学実習 助産診断技術学Ⅰ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※
専	講師	一ノ渡　学 ＜平成29年４月＞	感染免疫学 薬理学 ※
専	助教	横田　眞理子 ＜平成30年４月＞	成人看護方法論Ⅰ ※ 成人看護学演習Ⅰ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護実習

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	講師	秋山　直美 ＜平成29年４月＞	地域看護学展開論 ※ 在宅看護方法論 ※ 在宅看護学演習 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
専	講師	大澤　扶佐子 ＜令和２年４月＞	地域看護学方法論 ※ 在宅看護学演習 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
兼任	講師	大澤　扶佐子 ＜平成31年４月＞	地域看護学方法論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※
専	講師	最上　玲子 ＜平成31年４月＞	医療と福祉 ※ 小児看護方法論 ※ 小児看護学演習 看護研究 ※ 小児看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 看護研究実践演習
兼任	講師	最上　玲子 ＜平成29年４月＞	医療と福祉 ※ 小児看護方法論 ※
専	講師	遊田　由希子 ＜平成29年４月＞	母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護学実習 統合看護実習 助産診断技術学Ⅱ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※ 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産診断技術学Ⅴ ※ 地域母子保健 ※ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 看護研究実践演習
専	講師	西里　真澄 ＜令和２年４月＞	母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 母性看護学実習 統合看護実習 助産診断技術学Ⅰ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※ 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産診断技術学Ⅴ ※ 地域母子保健 ※ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 看護研究実践演習
兼任	講師	西里　真澄 ＜平成30年４月＞	母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 母性看護学実習 助産診断技術学Ⅰ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※
専	講師	一ノ渡　学 ＜平成29年４月＞	感染免疫学 薬理学 ※
専	助教	横田　眞理子 ＜平成30年４月＞	成人看護方法論Ⅰ ※ 成人看護学演習Ⅰ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護実習

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	講師	秋山　直美 ＜平成29年４月＞	地域看護学展開論 ※ 在宅看護方法論 ※ 在宅看護学演習 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
専	講師	大澤　扶佐子 ＜令和２年４月＞	地域看護学方法論 ※ 在宅看護学演習 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
兼任	講師	大澤　扶佐子 ＜平成31年４月＞	地域看護学方法論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※
専	講師	最上　玲子 ＜平成31年４月＞	医療と福祉 ※ 小児看護方法論 ※ 小児看護学演習 看護研究 ※ 小児看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 看護研究実践演習
兼任	講師	最上　玲子 ＜平成29年４月＞	医療と福祉 ※ 小児看護方法論 ※
専	講師	遊田　由希子 ＜平成29年４月＞	母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護学実習 統合看護実習 助産診断技術学Ⅱ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※ 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産診断技術学Ⅴ ※ 地域母子保健 ※ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 看護研究実践演習
専	講師	西里　真澄 ＜令和２年４月＞	母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 母性看護学実習 統合看護実習 助産診断技術学Ⅰ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※ 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産診断技術学Ⅴ ※ 地域母子保健 ※ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 看護研究実践演習
兼任	講師	西里　真澄 ＜平成30年４月＞	母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 母性看護学実習 助産診断技術学Ⅰ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※
専	講師	一ノ渡　学 ＜平成29年４月＞	感染免疫学 薬理学 ※
専	助教	横田　眞理子 ＜平成30年４月＞	成人看護方法論Ⅰ ※ 成人看護学演習Ⅰ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護実習

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
専	講師	大澤　扶佐子 ＜令和２年４月＞	地域看護学方法論 ※ 在宅看護学演習 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
兼任	講師	大澤　扶佐子 ＜平成31年４月＞	地域看護学方法論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※
専	講師	最上　玲子 ＜平成31年４月＞	医療と福祉 ※ 小児看護方法論 ※ 小児看護学演習 看護研究 ※ 小児看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習
専	講師	遊田　由希子 ＜平成29年４月＞	母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 母性看護学実習 統合看護実習 助産診断技術学Ⅱ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※ 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産診断技術学Ⅴ ※ 地域母子保健 ※ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 看護研究実践演習
専	講師	西里　真澄 ＜令和２年４月＞	母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 母性看護学実習 統合看護実習 助産診断技術学Ⅰ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※ 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産診断技術学Ⅴ ※ 地域母子保健 ※ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ 看護研究実践演習
兼任	講師	西里　真澄 ＜平成30年４月＞	母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 母性看護学実習 助産診断技術学Ⅰ ※ 助産診断技術学Ⅲ ※
専	講師	一ノ渡　学 ＜平成29年４月＞	感染免疫学 薬理学 ※
専	助教	横田　眞理子 ＜平成30年４月＞	成人看護方法論Ⅰ ※ 成人看護学演習Ⅰ ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護実習

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ / 担当授業科目名
専	助教	小松　恵 ＜平成29年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 成人看護学演習Ⅱ 国際看護学 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学急性期実習 統合看護実習
専	助教	小林　由美子 ＜平成29年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習
専	助教	野里　同 ＜平成29年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習
専	助教	小坂　未来 ＜平成29年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習
専	助教	藤澤　純子 ＜平成30年４月＞
		成人看護学演習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護実習
専	助教	佐藤　奈美枝 ＜平成30年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 成人看護学演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学急性期実習 統合看護実習
兼任	講師	佐藤　奈美枝 ＜平成29年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学実習Ⅰ
専	助教	吉岡　智大 ＜平成31年４月＞
		老年看護学演習 老年看護学実習 統合看護実習
専	助教	藤原　弥生 ＜平成31年４月＞
		在宅看護方法論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習
兼任	講師	藤原　弥生 ＜平成30年４月＞
		在宅看護方法論 ※
専	助教	松岡　真紀子 ＜令和２年４月＞
		地域看護学展開論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ / 担当授業科目名
専	助教	小松　恵 ＜平成29年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 成人看護学演習Ⅱ 国際看護学 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学急性期実習 統合看護実習
専	助教	小林　由美子 ＜平成29年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習
専	助教	野里　同 ＜平成29年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習
専	助教	小坂　未来 ＜平成29年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習
専	助教	藤澤　純子 ＜平成30年４月＞
		成人看護学演習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護実習
専	助教	佐藤　奈美枝 ＜平成30年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 成人看護学演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学急性期実習 統合看護実習
兼任	講師	佐藤　奈美枝 ＜平成29年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学実習Ⅰ
専	助教	吉岡　智大 ＜平成31年４月＞
		老年看護学演習 老年看護学実習 統合看護実習
専	助教	藤原　弥生 ＜平成31年４月＞
		在宅看護方法論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習
兼任	講師	藤原　弥生 ＜平成30年４月＞
		在宅看護方法論 ※
専	助教	松岡　真紀子 ＜令和２年４月＞
		地域看護学展開論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ / 担当授業科目名
専	助教	小松　恵 ＜平成29年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 成人看護学演習Ⅱ 国際看護学 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学急性期実習 統合看護実習
専	助教	小林　由美子 ＜平成29年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習
専	助教	野里　同 ＜平成29年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習
専	助教	小坂　未来 ＜平成29年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習
専	助教	藤澤　純子 ＜平成30年４月＞
		成人看護学演習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護実習
専	助教	佐藤　奈美枝 ＜平成30年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 成人看護学演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学急性期実習 統合看護実習
専	助教	吉岡　智大 ＜平成31年４月＞
		老年看護学演習 老年看護学実習 統合看護実習
専	助教	藤原　弥生 ＜平成31年４月＞
		在宅看護方法論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習
兼任	講師	藤原　弥生 ＜平成30年４月＞
		在宅看護方法論 ※
専	助教	松岡　真紀子 ＜令和２年４月＞
		地域看護学展開論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ / 担当授業科目名
専	助教	小松　恵 ＜平成29年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 成人看護学演習Ⅱ 国際看護学 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学急性期実習 統合看護実習
専	助教	小林　由美子 ＜平成29年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習
専	助教	野里　同 ＜平成29年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習
専	助教	小坂　未来 ＜平成29年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習
専	助教	藤澤　純子 ＜平成30年４月＞
		成人看護学演習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護実習
専	助教	佐藤　奈美枝 ＜平成30年４月＞
		基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅲ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 成人看護学演習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学急性期実習 統合看護実習
専	助教	吉岡　智大 ＜平成31年４月＞
		老年看護学演習 老年看護学実習 統合看護実習
専	助教	藤原　弥生 ＜平成31年４月＞
		在宅看護方法論 ※ 在宅看護学演習 基礎看護学実習Ⅰ 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習
専	助教	松岡　真紀子 ＜令和２年４月＞
		地域看護学展開論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	松岡　真紀子 ＜平成31年４月＞	地域看護学展開論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※
専	助教	髙橋　淳美 ＜令和２年４月＞	母性看護学演習 ※ 母性看護学実習 統合看護実習 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ
兼任	講師	髙橋　淳美 ＜平成31年４月＞	母性看護学演習 ※ 母性看護学実習
兼担	教授	寺山　靖夫 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅳ ※
兼任	講師	寺山　靖夫 ＜平成31年４月＞	疾病論Ⅳ ※
兼担	教授	佐々木　章 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※ 先端医療論 ※
兼担	教授	小笠原　邦昭 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	土井田　稔 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	杉山　徹 ＜平成29年４月＞	医学・医療入門 ※
兼任	講師	杉山　徹 ＜平成30年４月＞	医学・医療入門 ※
兼担	教授	佐藤　宏昭 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	黒坂　大次郎 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	松岡　真紀子 ＜平成31年４月＞	地域看護学展開論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※
専	助教	髙橋　淳美 ＜令和２年４月＞	母性看護学演習 ※ 母性看護学実習 統合看護実習 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ
兼任	講師	髙橋　淳美 ＜平成31年４月＞	母性看護学演習 ※ 母性看護学実習
兼担	教授	寺山　靖夫 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅳ ※
兼任	講師	寺山　靖夫 ＜平成31年４月＞	疾病論Ⅳ ※
兼担	教授	佐々木　章 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※ 先端医療論 ※
兼担	教授	小笠原　邦昭 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	土井田　稔 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	杉山　徹 ＜平成29年４月＞	医学・医療入門 ※
兼任	講師	杉山　徹 ＜平成30年４月＞	医学・医療入門 ※
兼担	教授	佐藤　宏昭 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	黒坂　大次郎 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	松岡　真紀子 ＜平成31年４月＞	地域看護学展開論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※
専	助教	髙橋　淳美 ＜令和２年４月＞	母性看護学演習 ※ 母性看護学実習 統合看護実習 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ
兼任	講師	髙橋　淳美 ＜平成31年４月＞	母性看護学演習 ※ 母性看護学実習
兼担	教授	寺山　靖夫 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅳ ※
兼任	講師	寺山　靖夫 ＜平成31年４月＞	疾病論Ⅳ ※
兼担	教授	佐々木　章 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※ 先端医療論 ※
兼担	教授	小笠原　邦昭 ＜平成30年４月＞	4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※
兼担	教授	土井田　稔 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	佐藤　宏昭 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	黒坂　大次郎 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	松岡　真紀子 ＜平成31年４月＞	地域看護学展開論 ※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※
専	助教	髙橋　淳美 ＜令和２年４月＞	母性看護学演習 ※ 母性看護学実習 統合看護実習 助産診断技術学Ⅳ ※ 助産学実習Ⅰ 助産学実習Ⅱ
兼任	講師	髙橋　淳美 ＜平成31年４月＞	母性看護学演習 ※ 母性看護学実習
専	教授	宮本　郁子 ＜平成30年９月＞	4学部合同セミナー 在宅看護学概論 在宅看護方法論 ※ 在宅看護学演習 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護管理論Ⅱ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
専	講師	岩渕　光子 ＜平成31年４月＞	地域看護学Ⅱ 地域看護学方法論※ 地域看護学展開論※ 在宅看護学演習 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論※ 公衆衛生看護展開論※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
兼担	講師	工藤　雅子 ＜平成31年４月＞	疾病論Ⅳ ※
兼担	教授	佐々木　章 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※ 先端医療論 ※
兼担	教授	小笠原　邦昭 ＜平成30年４月＞	4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※
兼担	教授	土井田　稔 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	佐藤　宏昭 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	黒坂　大次郎 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	小原　航 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	福島　明宗 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅳ ※ 先端医療論 ※
兼担	教授	佐藤　孝 ＜平成29年４月＞	病理学概論
兼担	教授	坂田　清美 ＜平成31年４月＞	公衆衛生学・疫学 公衆衛生看護展開論 ※
兼担	教授	佐藤　洋一 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 自然・文化人類学 ※ 医療と福祉 ※ 医学・医療入門 ※
兼任	講師	佐藤　洋一 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 自然・文化人類学 ※ 医療と福祉 ※ 医学・医療入門 ※
兼担	教授	櫻井　滋 ＜平成29年４月＞	医療と物語 ※ 公衆衛生看護方法論 ※
兼担	教授	志賀　清人 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	有賀　久哲 ＜平成31年４月＞	先端医療論 ※
兼担	教授	出羽　厚二 ＜平成29年４月＞	自然・文化人類学 ※
兼担	教授	佐々木　真理 ＜平成31年４月＞	先端医療論 ※
兼担	教授	石垣　泰 ＜平成31年４月＞	公衆衛生看護方法論 ※
兼担	教授	伊藤　智範 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※
兼担	教授	眞瀬　智彦 ＜平成29年４月＞	医療と福祉 ※ 医療と物語 ※ 災害ケア論 ※ 災害医療論
兼担	教授	大塚　耕太郎 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅳ ※
兼担	教授	原田　英光 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー 先端医療論 ※
兼担	教授	石崎　明 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	八重柏　隆 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	佐藤　和朗 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	小原　航 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	福島　明宗 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅳ ※ 先端医療論 ※
兼担	教授	佐藤　孝 ＜平成29年４月＞	病理学概論
兼担	教授	坂田　清美 ＜平成31年４月＞	公衆衛生学・疫学 公衆衛生看護展開論 ※
兼担	教授	佐藤　洋一 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 自然・文化人類学 ※ 医療と福祉 ※ 医学・医療入門 ※
兼任	講師	佐藤　洋一 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 自然・文化人類学 ※ 医療と福祉 ※ 医学・医療入門 ※
兼担	教授	櫻井　滋 ＜平成29年４月＞	医療と物語 ※ 公衆衛生看護方法論 ※
兼担	教授	志賀　清人 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	有賀　久哲 ＜平成31年４月＞	先端医療論 ※
兼担	教授	出羽　厚二 ＜平成29年４月＞	自然・文化人類学 ※
兼担	教授	佐々木　真理 ＜平成31年４月＞	先端医療論 ※
兼担	教授	石垣　泰 ＜平成31年４月＞	公衆衛生看護方法論 ※
兼担	教授	伊藤　智範 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※
兼担	教授	眞瀬　智彦 ＜平成29年４月＞	医療と福祉 ※ 医療と物語 ※ 災害ケア論 ※ 災害医療論
兼担	教授	大塚　耕太郎 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅳ ※
兼担	教授	原田　英光 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー 先端医療論 ※
兼担	教授	石崎　明 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	八重柏　隆 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	佐藤　和朗 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	小原　航 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	福島　明宗 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅳ ※ 先端医療論 ※
兼担	教授	佐藤　孝 ＜平成29年４月＞	病理学概論 ※
兼担	教授	坂田　清美 ＜平成31年４月＞	公衆衛生学・疫学 公衆衛生看護展開論 ※
兼担	教授	佐藤　洋一 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 自然・文化人類学 ※ 医療と福祉 ※ 医学・医療入門 ※ 地域医療課題解決演習
兼任	講師	佐藤　洋一 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 自然・文化人類学 ※ 医療と福祉 ※ 医学・医療入門 ※ 地域医療課題解決演習
兼担	教授	櫻井　滋 ＜平成29年４月＞	医療と物語 ※ 公衆衛生看護方法論 ※
兼担	教授	志賀　清人 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	有賀　久哲 ＜平成31年４月＞	先端医療論 ※
兼担	教授	出羽　厚二 ＜平成29年４月＞	自然・文化人類学 ※
兼担	教授	佐々木　真理 ＜平成31年４月＞	先端医療論 ※
兼担	教授	石垣　泰 ＜平成31年４月＞	公衆衛生看護方法論 ※
兼担	教授	伊藤　智範 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※
兼担	教授	眞瀬　智彦 ＜平成29年４月＞	医療と福祉 ※ 医療と物語 ※ 災害ケア論 ※ 災害医療論
兼担	教授	大塚　耕太郎 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅳ ※
兼担	教授	原田　英光 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー 先端医療論 ※
兼担	教授	石崎　明 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	八重柏　隆 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	佐藤　和朗 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	小原　航 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	福島　明宗 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅳ ※ 先端医療論 ※
兼担	教授	佐藤　孝 ＜平成29年４月＞	病理学概論 ※
兼担	教授	坂田　清美 ＜平成31年４月＞	公衆衛生学・疫学 公衆衛生看護展開論 ※
兼任	講師	佐藤　洋一 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 自然・文化人類学 ※ 医学・医療入門 ※ 地域医療課題解決演習 ※ 医療と物語 ※
兼担	教授	櫻井　滋 ＜平成29年４月＞	医療と物語 ※ 公衆衛生看護方法論 ※
兼担	教授	志賀　清人 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	有賀　久哲 ＜平成31年４月＞	先端医療論 ※
兼担	教授	出羽　厚二 ＜平成29年４月＞	自然・文化人類学 ※ 医療と物語 ※
兼担	教授	佐々木　真理 ＜平成31年４月＞	医学・医療入門 ※ 先端医療論 ※
兼担	教授	石垣　泰 ＜平成31年４月＞	公衆衛生看護方法論 ※ 地域医療課題解決演習 ※
兼担	教授	伊藤　智範 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※
兼担	教授	眞瀬　智彦 ＜平成29年４月＞	医療と福祉 ※ 医療と物語 ※ 災害ケア論 ※ 災害医療論 ※
兼担	教授	大塚　耕太郎 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅳ ※
兼担	教授	原田　英光 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー ※ 先端医療論 ※
兼担	教授	石崎　明 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	八重柏　隆 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	佐藤　和朗 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	岸　光男 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー
兼担	教授	佐藤　健一 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	駒野　宏人 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 医療とコミュニケーション ※
兼担	教授	中西　真弓 ＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※
兼担	教授	小澤　正吾 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	那谷　耕司 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	藤井　勲 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	高橋　寛 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー
兼担	教授	弘瀬　雅教 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー
兼担	教授	遠藤　寿一 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 生命倫理学 道徳のしくみ 哲学の世界
兼担	教授	平林　香織 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー 文学の世界 医療とコミュニケーション ※ 医療と福祉 ※ 医療と物語 ※
兼担	教授	松政　正俊 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼担	教授	江尻　正一 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 情報科学 ベーシック数学
兼担	教授	佐藤　英一 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼担	教授	中島　理 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック化学

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	岸　光男 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー
兼担	教授	佐藤　健一 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	駒野　宏人 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 医療とコミュニケーション ※
兼担	教授	中西　真弓 ＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※
兼担	教授	小澤　正吾 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	那谷　耕司 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	藤井　勲 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	高橋　寛 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー
兼担	教授	弘瀬　雅教 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー
兼担	教授	遠藤　寿一 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 生命倫理学 道徳のしくみ 哲学の世界
兼担	教授	平林　香織 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー 文学の世界 医療とコミュニケーション ※ 医療と福祉 ※ 医療と物語 ※
兼担	教授	松政　正俊 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼担	教授	江尻　正一 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 情報科学 ベーシック数学
兼担	教授	佐藤　英一 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼担	教授	中島　理 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック化学

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	岸　光男 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー
兼担	教授	佐藤　健一 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	駒野　宏人 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 医療とコミュニケーション ※
兼担	教授	中西　真弓 ＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※
兼担	教授	小澤　正吾 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	那谷　耕司 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	藤井　勲 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	高橋　寛 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー
兼担	教授	弘瀬　雅教 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー
兼担	教授	遠藤　寿一 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 生命倫理学 道徳のしくみ 哲学の世界
兼担	教授	平林　香織 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー 文学の世界 医療とコミュニケーション ※ 医療と福祉 ※ 医療と物語 ※
兼担	教授	松政　正俊 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼担	教授	江尻　正一 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 情報科学 ベーシック数学
兼担	教授	佐藤　英一 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼担	教授	中島　理 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック化学

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	岸　光男 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー ※
兼担	教授	佐藤　健一 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	駒野　宏人 ＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー 医療とコミュニケーション ※
兼担	教授	中西　真弓 ＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※
兼担	教授	小澤　正吾 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー チーム医療リテラシー ※
兼担	教授	那谷　耕司 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	藤井　勲 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	教授	高橋　寛 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー ※ 4学部合同セミナー 地域医療課題解決演習 ※
兼担	教授	弘瀬　雅教 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー ※
兼担	教授	遠藤　寿一 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 生命倫理学 道徳のしくみ 哲学の世界 チーム医療リテラシー ※
兼任	講師	平林　香織 ＜平成31年４月＞	医療と物語 ※
兼担	教授	高橋　史朗 ＜平成31年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼担	教授	松政　正俊 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼担	教授	江尻　正一 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 情報科学 ベーシック数学
兼担	教授	佐藤　英一 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼担	教授	中島　理 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック化学

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	ｼﾞｪｲﾑｽﾞ･ﾎｯﾌﾞｽ ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 医療英語
兼担	准教授	吉岡　邦浩 ＜平成31年４月＞	先端医療論 ※
兼担	准教授	木村　祐輔 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー 医療と物語 ※ 緩和ケア論
兼担	准教授	高橋　和宏 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	准教授	奈良場　博昭 ＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※
兼担	准教授	木村　眞吾 ＜平成29年４月＞	基礎生理学
兼担	准教授	水野　大 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	准教授	肥田　圭介 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	准教授	遠藤　幹也 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅳ ※
兼担	准教授	田島　克巳 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	准教授	鈴木　啓二朗 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	准教授	平海　晴一 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	准教授	小山　理恵 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※ 疾病論Ⅳ ※
兼担	准教授	久慈　昭慶 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼任	講師	久慈　昭慶 ＜平成31年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	准教授	藤原　尚樹 ＜平成29年４月＞	基礎解剖学
兼担	准教授	相澤　文恵 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	ｼﾞｪｲﾑｽﾞ･ﾎｯﾌﾞｽ ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 医療英語
兼担	准教授	吉岡　邦浩 ＜平成31年４月＞	先端医療論 ※
兼担	准教授	木村　祐輔 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー 医療と物語 ※ 緩和ケア論
兼担	教授	奈良場　博昭 ＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※
兼担	准教授	木村　眞吾 ＜平成29年４月＞	基礎生理学
兼担	准教授	水野　大 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	准教授	肥田　圭介 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	准教授	遠藤　幹也 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅳ ※
兼担	准教授	田島　克巳 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	准教授	鈴木　啓二朗 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	准教授	平海　晴一 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	准教授	小山　理恵 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※ 疾病論Ⅳ ※
兼担	准教授	久慈　昭慶 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼任	講師	久慈　昭慶 ＜平成31年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	准教授	藤原　尚樹 ＜平成29年４月＞	基礎解剖学
兼担	准教授	相澤　文恵 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	ｼﾞｪｲﾑｽﾞ･ﾎｯﾌﾞｽ ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 医療英語
兼担	准教授	吉岡　邦浩 ＜平成31年４月＞	先端医療論 ※
兼担	准教授	木村　祐輔 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー 医療と物語 ※ 緩和ケア論 ※
兼担	教授	天野　博雄 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	奈良場　博昭 ＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※
兼担	准教授	木村　眞吾 ＜平成29年４月＞	基礎生理学
兼担	准教授	水野　大 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	教授	肥田　圭介 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	准教授	遠藤　幹也 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅳ ※
兼担	准教授	田島　克巳 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	准教授	鈴木　啓二朗 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	准教授	平海　晴一 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	准教授	小山　理恵 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※ 疾病論Ⅳ ※
兼担	准教授	久慈　昭慶 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼任	講師	久慈　昭慶 ＜平成31年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	准教授	藤原　尚樹 ＜平成29年４月＞	基礎解剖学
兼担	教授	相澤　文恵 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	教授	ｼﾞｪｲﾑｽﾞ･ﾎｯﾌﾞｽ ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 医療英語
兼担	教授	吉岡　邦浩 ＜平成31年４月＞	先端医療論 ※
兼担	准教授	木村　祐輔 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー ※ 医療と物語 ※ 緩和ケア論 ※
兼担	教授	天野　博雄 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	奈良場　博昭 ＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※ チーム医療リテラシー ※
兼担	准教授	木村　眞吾 ＜平成29年４月＞	基礎生理学
兼担	助教	小林　めぐみ ＜平成31年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	教授	肥田　圭介 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※ チーム医療リテラシー ※
兼担	准教授	遠藤　幹也 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅳ ※
兼担	教授	田島　克巳 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	准教授	鈴木　啓二朗 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	准教授	平海　晴一 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	准教授	小山　理恵 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※ 疾病論Ⅳ ※
兼担	准教授	久慈　昭慶 ＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	教授	藤原　尚樹 ＜平成29年４月＞	基礎解剖学
兼担	教授	相澤　文恵 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー ※ 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学 公衆衛生看護方法論 ※

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	相澤　文恵＜平成31年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学
兼担	准教授	小山　薫＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼担	講師	田中　良一＜平成31年４月＞	先端医療論 ※
兼担	講師	秋山　有史＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	講師	岩谷　岳＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	講師	大塚　幸喜＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	講師	新田　浩幸＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	講師	西塚　哲＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	講師	吉田　研二＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	講師	高田　亮＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	講師	本多　孝之＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	講師	八木　淳子＜平成29年４月＞	医療と福祉 ※
兼担	講師	成田　欣弥＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー
兼担	講師	田村　晴希＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー
兼担	講師	帖佐　直幸＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※
兼担	講師	西谷　直之＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー アドバンスト生物 ※
兼担	講師	松浦　誠＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー
兼担	講師	佐藤　淳也＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	相澤　文恵＜平成31年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学
兼担	准教授	小山　薫＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼担	講師	田中　良一＜平成31年４月＞	先端医療論 ※
兼担	講師	秋山　有史＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	講師	岩谷　岳＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	講師	大塚　幸喜＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	講師	新田　浩幸＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	准教授	西塚　哲＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	講師	吉田　研二＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	講師	高田　亮＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	講師	本多　孝之＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	講師	八木　淳子＜平成29年４月＞	医療と福祉 ※
兼担	講師	成田　欣弥＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー
兼担	講師	田村　晴希＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー
兼担	講師	帖佐　直幸＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※
兼担	准教授	西谷　直之＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー アドバンスト生物 ※
兼担	准教授	松浦　誠＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	小山　薫＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼担	教授	田中　良一＜平成31年４月＞	先端医療論 ※
兼担	講師	秋山　有史＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	講師	岩谷　岳＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	講師	大塚　幸喜＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	講師	新田　浩幸＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	准教授	西塚　哲＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	講師	吉田　研二＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	講師	高田　亮＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	講師	本多　孝之＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	講師	八木　淳子＜平成29年４月＞	医療と福祉 ※
兼担	講師	成田　欣弥＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー
兼担	講師	田村　晴希＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー
兼担	准教授	帖佐　直幸＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※
兼担	教授	西谷　直之＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー アドバンスト生物 ※
兼担	准教授	松浦　誠＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	准教授	小山　薫＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼担	教授	田中　良一＜平成31年４月＞	先端医療論 ※
兼担	講師	秋山　有史＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	講師	岩谷　岳＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	准教授	大塚　幸喜＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	准教授	新田　浩幸＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	准教授	西塚　哲＜平成30年４月＞	疾病論Ⅱ ※
兼担	講師	吉田　研二＜平成30年４月＞	疾病論Ⅲ ※
兼担	講師	高田　亮＜平成31年４月＞	4学部合同セミナー チーム医療リテラシー ※
兼担	講師	本多　孝之＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	講師	八木　淳子＜平成29年４月＞	医療と福祉 ※
兼担	講師	成田　欣弥＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー ※
兼担	講師	田村　晴希＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー ※
兼担	准教授	帖佐　直幸＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※
兼担	教授	西谷　直之＜平成29年４月＞	4学部合同セミナー アドバンスト生物 ※
兼担	准教授	松浦　誠＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー ※ 地域医療課題解決演習 ※

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	廣瀬　清英 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 医療と法律 日本国憲法
兼担	講師	東尾　浩典 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー アドバンスト化学
兼担	講師	三枝　聖 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※
兼担	講師	小松　真 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼担	助教	相澤　純 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	助教	山本　佳世乃 ＜平成29年４月＞	医療と物語 ※
兼担	助教	佐々木　亮平 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー 医療と福祉 ※
兼担	助教	石河　太知 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー
兼担	助教	柳谷　千枝子 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー English Reading & Writing 実践英語
兼担	助教	藤澤　美穂 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー 心理学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ パーソナリティ心理学 臨床心理学
兼担	助教	蛭田（角井） 千鶴江 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼担	助教	小田　泰行 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	廣瀬　清英 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 医療と法律 日本国憲法
兼担	講師	東尾　浩典 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー アドバンスト化学
兼担	講師	三枝　聖 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※
兼担	講師	小松　真 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼担	助教	相澤　純 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	助教	山本　佳世乃 ＜平成29年４月＞	医療と物語 ※
兼担	助教	佐々木　亮平 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー 医療と福祉 ※
兼担	助教	石河　太知 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー
兼担	助教	柳谷　千枝子 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー English Reading & Writing 実践英語
兼担	助教	藤澤　美穂 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー 心理学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ パーソナリティ心理学 臨床心理学
兼担	助教	阿部　博和 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼担	助教	小田　泰行 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	廣瀬　清英 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 医療と法律 日本国憲法
兼担	講師	東尾　浩典 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー アドバンスト化学
兼担	講師	三枝　聖 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※
兼担	講師	小松　真 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼担	助教	相澤　純 ＜令和２年４月＞	4学部合同セミナー
兼担	助教	山本　佳世乃 ＜平成29年４月＞	医療と物語 ※
兼担	助教	佐々木　亮平 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー 医療と福祉 ※
兼担	助教	石河　太知 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー
兼担	助教	柳谷　千枝子 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー English Reading & Writing 実践英語
兼担	助教	藤澤　美穂 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー 心理学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ パーソナリティ心理学 臨床心理学
兼担	助教	阿部　博和 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※
兼担	助教	内藤　雪枝 ＜平成30年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼担	助教	小田　泰行 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	廣瀬　清英 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー 医療と法律 日本国憲法 チーム医療リテラシー ※
兼担	講師	東尾　浩典 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー アドバンスト化学
兼担	講師	三枝　聖 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※
兼担	講師	小松　真 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー ※
兼担	助教	相澤　純 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー ※ 4学部合同セミナー
兼担	助教	山本　佳世乃 ＜平成29年４月＞	医療と物語 ※
兼担	助教	佐々木　亮平 ＜平成29年４月＞	チーム医療リテラシー ※ 医療と福祉 ※
兼担	助教	石河　太知 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー ※
兼担	助教	柳谷　千枝子 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー English Reading & Writing 実践英語 パーソナリティ心理学 ※ 医療と物語 ※ チーム医療リテラシー ※
兼担	講師	藤澤　美穂 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー ※ 心理学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ パーソナリティ心理学 ※ 臨床心理学 医療と物語 ※ 医療とコミュニケーション ※
兼担	助教	阿部　博和 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※
兼担	助教	内藤　雪枝 ＜平成30年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※ ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※
兼担	助教	小田　泰行 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※ チーム医療リテラシー ※

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	助教	寒河江　康朗 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	講師	寒河江　康朗 ＜令和２年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼担	助教	吉田　潤 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼担	助教	大沼　仁美 ＜平成29年４月＞	English Reading & Writing 英語学
兼担	助教	長谷川　大 ＜平成29年４月＞	解析学入門 ベーシック数学

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	助教	寒河江　康朗 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	講師	寒河江　康朗 ＜令和２年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼担	助教	吉田　潤 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼担	助教	大沼　仁美 ＜平成29年４月＞	English Reading & Writing 英語学 多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼担	助教	長谷川　大 ＜平成29年４月＞	解析学入門 ベーシック数学 多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼担	助教	三浦　康宏 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼担	助教	岩渕　玲子 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	助教	寒河江　康朗 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	講師	寒河江　康朗 ＜令和２年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼担	助教	吉田　潤 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼担	助教	大沼　仁美 ＜平成29年４月＞	English Reading & Writing 英語学 多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼担	助教	長谷川　大 ＜平成29年４月＞	解析学入門 ベーシック数学 多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼担	助教	三浦　康宏 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼担	助教	岩渕　玲子 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼担	教授	下沖　収 ＜平成30年４月＞	地域医療課題解決演習
兼担	講師	及川　浩樹 ＜平成30年４月＞	病理学概論 ※
兼担	助教	阿保　亜紀子 ＜平成30年４月＞	病理学概論 ※
兼担	助教	高橋　智弘 ＜平成30年４月＞	地域医療課題解決演習

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	助教	寒河江　康朗 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※ チーム医療リテラシー ※
兼任	講師	寒河江　康朗 ＜令和２年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※ チーム医療リテラシー ※
兼担	助教	吉田　潤 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼担	助教	大沼　仁美 ＜平成29年４月＞	English Reading & Writing 英語学 多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー ※
兼担	助教	長谷川　大 ＜平成29年４月＞	解析学入門 ベーシック数学 多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー ※
兼担	助教	三浦　康宏 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼担	助教	岩渕　玲子 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼担	教授	下沖　収 ＜平成30年４月＞	地域医療課題解決演習 ※
兼担	講師	及川　浩樹 ＜平成30年４月＞	病理学概論 ※
兼担	助教	阿保　亜紀子 ＜平成30年４月＞	病理学概論 ※
兼担	講師	高橋　智弘 ＜平成30年４月＞	地域医療課題解決演習 ※
兼担	教授	古山　和道 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー ※
兼担	教授	村木　靖 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー ※
兼担	教授	増田　友之 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー ※
兼担	教授	前沢　千早 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー ※
兼担	教授	森川　和政 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー ※ 地域医療課題解決演習 ※
兼担	教授	千葉　俊美 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー ※ 地域医療課題解決演習 ※
兼担	准教授	熊谷　章子 ＜平成31年４月＞	地域医療課題解決演習 ※

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	工藤　裕子 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー English Reading & Writing 科学英語
兼任	講師	ｼﾞｮﾅｻﾝ 曜 ﾚｳﾞｨﾝｰ小倉 ＜平成29年４月＞	English Speaking & Listening 医療英語
兼任	講師	ｹﾝ　ｱｻﾉ ＜平成29年４月＞	English Speaking & Listening
兼任	講師	ｻｲﾓﾝ　ﾀｳﾝｾﾞﾝﾄﾞ ＜平成29年４月＞	English Speaking & Listening
兼任	講師	赤坂　ｷｬｻﾘﾝ ＜平成29年４月＞	English Speaking & Listening

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	工藤　裕子 ＜平成29年４月＞	多職種連携のためのアカデミックリテラシー English Reading & Writing
兼担	助教	ｼﾞｮﾅｻﾝ 曜 ﾚｳﾞｨﾝｰ小倉 ＜平成29年４月＞	English Speaking & Listening 医療英語 科学英語 多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼任	講師	ｹﾝ　ｱｻﾉ ＜平成29年４月＞	English Speaking & Listening
兼任	講師	ﾀﾞﾆｴﾙ ﾆｭｰﾍﾞﾘｰ ＜平成29年４月＞	English Speaking & Listening
兼任	講師	ﾍｲﾐｯｼｭ ｽﾐｽ ＜平成29年４月＞	English Speaking & Listening

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	工藤　裕子 ＜平成29年４月＞	English Reading & Writing
兼担	助教	ｼﾞｮﾅｻﾝ 曜 ﾚｳﾞｨﾝｰ小倉 ＜平成29年４月＞	English Speaking & Listening 医療英語 科学英語 多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼任	講師	ｹﾝ　ｱｻﾉ ＜平成29年４月＞	English Speaking & Listening
兼任	講師	ﾀﾞﾆｴﾙ ﾆｭｰﾍﾞﾘｰ ＜平成29年４月＞	English Speaking & Listening

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼担	講師	近藤　ゆき子 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー　※
兼担	講師	髙宮　正隆 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー　※
兼担	助教	衣斐　美歩 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー　※
兼担	助教	横田　聖司 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー　※
兼担	助教	川崎　靖 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー　※
兼担	助教	左京　智子 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー　※
兼担	助教	藤田　融 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー　※
兼担	助教	牛島　弘雅 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー　※
兼担	助教	手塚　優 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー　※
兼担	助教	平松　寛彦 ＜平成31年４月＞	チーム医療リテラシー　※
兼担	助教	藤原　弘之 ＜平成31年４月＞	災害医療論　※
兼担	助教	富永　綾 ＜平成31年４月＞	災害医療論　※
兼任	講師	工藤　裕子 ＜平成29年４月＞	English Reading & Writing
兼担	助教	ｼﾞｮﾅｻﾝ 曜 ﾚｳﾞｨﾝｰ小倉 ＜平成29年４月＞	English Speaking & Listening 医療英語 科学英語 多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼任	講師	ｹﾝ　ｱｻﾉ ＜平成29年４月＞	English Speaking & Listening
兼任	講師	ﾀﾞﾆｴﾙ ﾆｭｰﾍﾞﾘｰ ＜平成29年４月＞	English Speaking & Listening

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	小野　保＜平成31年４月＞	医療情報論
兼任	講師	工藤　真由美＜令和２年４月＞	看護教育論
兼任	講師	安達　登＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※
兼任	講師	栃内　新＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	講師	松前　もゆる＜平成29年４月＞	自然・文化人類学 ※
兼任	講師	平野　順子＜平成29年４月＞	医療とコミュニケーション ※
兼任	講師	久保田　美恵子＜平成29年４月＞	医療とコミュニケーション ※
兼任	講師	田沢　光正＜平成29年４月＞	人間関係論 ※
兼任	講師	森谷　俊樹＜平成29年４月＞	医療と福祉 ※
兼任	講師	安田　敏明＜平成29年４月＞	医療と福祉 ※
兼任	講師	高橋　健＜平成29年４月＞	健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	豊澤　博幸＜平成29年４月＞	健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	本多　好郎＜平成29年４月＞	健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	小野　保＜平成31年４月＞	医療情報論
兼任	講師	工藤　真由美＜令和２年４月＞	看護教育論
兼任	講師	安達　登＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※
兼任	講師	栃内　新＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	講師	松前　もゆる＜平成29年４月＞	自然・文化人類学 ※
兼任	講師	平野　順子＜平成29年４月＞	医療とコミュニケーション ※
兼任	講師	久保田　美恵子＜平成29年４月＞	医療とコミュニケーション ※
兼任	講師	田沢　光正＜平成29年４月＞	人間関係論 ※
兼任	講師	森谷　俊樹＜平成29年４月＞	医療と福祉 ※
兼任	講師	安田　敏明＜平成29年４月＞	医療と福祉 ※
兼任	講師	高橋　健＜平成29年４月＞	健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	豊澤　博幸＜平成29年４月＞	健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	本多　好郎＜平成29年４月＞	健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	ｱﾝﾄﾞﾘｭｰ ﾊﾘｽ＜平成30年４月＞	English Speaking & Listening
兼任	講師	小野　保＜平成31年４月＞	医療情報論
兼任	講師	工藤　真由美＜令和２年４月＞	看護教育論
兼任	講師	安達　登＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※
兼任	講師	栃内　新＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	講師	松前　もゆる＜平成29年４月＞	自然・文化人類学 ※
兼任	講師	平野　順子＜平成29年４月＞	医療とコミュニケーション ※
兼任	講師	田沢　光正＜平成29年４月＞	人間関係論 ※
兼任	講師	森谷　俊樹＜平成29年４月＞	医療と福祉 ※
兼任	講師	安田　敏明＜平成29年４月＞	医療と福祉 ※
兼任	講師	高橋　健＜平成29年４月＞	健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	豊澤　博幸＜平成29年４月＞	健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	本多　好郎＜平成29年４月＞	健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	ｱﾝﾄﾞﾘｭｰ ﾊﾘｽ＜平成30年４月＞	English Speaking & Listening
兼任	講師	小野　保＜平成31年４月＞	医療情報論
兼任	講師	工藤　真由美＜令和２年４月＞	看護教育論
兼任	講師	安達　登＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※
兼任	講師	栃内　新＜平成29年４月＞	アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	講師	松前　もゆる＜平成29年４月＞	自然・文化人類学 ※
兼任	講師	平野　順子＜平成29年４月＞	医療とコミュニケーション ※
兼任	講師	田沢　光正＜平成29年４月＞	人間関係論 ※
兼任	講師	森谷　俊樹＜平成29年４月＞	医療と福祉 ※
兼任	講師	高橋　栄子＜平成31年４月＞	医療と福祉 ※
兼任	講師	佐々木　勝忠＜平成31年４月＞	医療と福祉 ※
兼任	講師	竹村　祥子＜平成31年４月＞	医療と福祉 ※
兼任	講師	高橋　智幸＜平成31年４月＞	医療と福祉 ※
兼任	講師	高橋　健＜平成29年４月＞	健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	谷藤　玲二＜平成31年４月＞	健康運動科学 ※
兼任	講師	畠山　健＜平成31年４月＞	健康運動科学 ※

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	内城　寛子 ＜平成29年４月＞	医療とスポーツ ※
兼任	講師	川乗　賀也 ＜平成29年４月＞	社会福祉

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	内城　寛子 ＜平成29年４月＞	医療とスポーツ ※
兼任	講師	川乗　賀也 ＜平成29年４月＞	社会福祉

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	内城　寛子 ＜平成29年４月＞	医療とスポーツ ※
兼任	講師	川乗　賀也 ＜平成29年４月＞	社会福祉
兼任	**講師**	**髙橋　昇 ＜平成30年４月＞**	**臨床心理学**
兼任	**講師**	**長澤　昌子 ＜平成30年４月＞**	**緩和ケア論　※**
兼任	**講師**	**竹内　可愛 ＜平成30年４月＞**	**緩和ケア論　※**
兼任	**講師**	**萬徳　孝子 ＜平成30年４月＞**	**緩和ケア論　※**
兼任	**講師**	**菅野　綾子 ＜平成30年４月＞**	**緩和ケア論　※**
兼任	**講師**	**飛内　悠子 ＜平成30年４月＞**	**自然・文化人類学 ※**

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名（年　齢）＜就任（予定）年月＞	担当授業科目名
兼任	講師	内城　寛子 ＜平成29年４月＞	医療とスポーツ ※
兼任	講師	川乗　賀也 ＜平成29年４月＞	社会福祉
兼任	**講師**	**髙橋　昇 ＜平成30年４月＞**	**臨床心理学**
兼任	**講師**	**長澤　昌子 ＜平成30年４月＞**	**緩和ケア論　※**
兼任	**講師**	**竹内　可愛 ＜平成30年４月＞**	**緩和ケア論　※**
兼任	**講師**	**萬徳　孝子 ＜平成30年４月＞**	**緩和ケア論　※**
兼任	**講師**	**菅野　綾子 ＜平成30年４月＞**	**緩和ケア論　※**
兼任	**講師**	**飛内　悠子 ＜平成30年４月＞**	**自然・文化人類学 ※**
兼任	**講師**	**塩谷　昌弘 ＜平成31年４月＞**	**文学の世界 医療とコミュニケーション ※**
兼任	**講師**	**大関　信隆 ＜平成31年４月＞**	**医療とコミュニケーション ※**
兼任	**講師**	**中島　淳子 ＜平成31年４月＞**	**医療と物語 ※ パーソナリティ心理学　※**
兼任	**講師**	**熊谷　治子 ＜平成31年４月＞**	**医療と物語 ※**
兼任	**講師**	**亀田　政則 ＜平成31年４月＞**	**医療と物語 ※**

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- 認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
- 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
  その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- 年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
- 専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
- 不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）－②担当教員表に関する変更内容

【平成２９年度】

・高橋和宏（兼担/准教授）退職に伴う就任辞退（後任補充予定）。
・昇任に伴い、奈良場博昭（兼担/准教授）の職名を「教授」に変更。
・昇任に伴い、西塚哲（兼担/講師）の職名を「准教授」に変更。
・昇任に伴い、西谷直之（兼担/講師）の職名を「准教授」に変更。
・昇任に伴い、松浦誠（兼担/講師）の職名を「准教授」に変更。
・佐藤淳也（兼担/講師）退職に伴う就任辞退（後任補充予定）。
・蛭田（角井）千鶴江（兼担/助教）退職に伴う就任辞退のため、担当教員を阿部博和（兼担/助教）に変更。
・ｼﾞｮﾅｻﾝ 曜 ﾚｳﾞｨﾝｰ小倉（兼任/講師）任用に伴い、専任・兼担・兼任の別を「兼担」に、職名を「助教」にそれぞれ変更。
・教育内容充実のため、大沼仁美、長谷川大、三浦康宏、岩渕玲子、ｼﾞｮﾅｻﾝ 曜 ﾚｳﾞｨﾝｰ小倉（いずれも兼担/助教）を「多職種連携のためのｱｶﾃﾞﾐｯｸﾘﾃﾗｼｰ」の担当教員に追加。
・工藤裕子（兼任/講師）の就任辞退により、「科学英語」の担当教員をｼﾞｮﾅｻﾝ 曜 ﾚｳﾞｨﾝｰ小倉（兼担/助教）に変更。
・ｻｲﾓﾝ ﾀｳﾝｾﾞﾝﾄﾞ（兼任/講師）の就任辞退により、「English Speaking & Listening」の担当教員をﾀﾞﾆｴﾙ ﾆｭｰﾍﾞﾘｰ（兼任/講師）に変更。
・赤坂 ｷｬｻﾘﾝ（兼任/講師）の就任辞退により、「English Speaking & Listening」の担当教員をﾍｲﾐｯｼｭ ｽﾐｽ（兼任/講師）に変更。

【平成３０年度】

・留意事項４への対応に伴い、高橋亮（専任/教授）、遠藤太（専任/講師）、三宅美智（専任/講師）の担当科目に「基礎看護学実習Ⅱ」をそれぞれ追加（平成29年8月教員審査済み）。
・杉山徹（兼担/教授・兼任/講師）退職に伴う就任辞退のため、「医学・医療入門」の担当教員を小笠原邦昭（兼担/教授）に変更。
・教育内容充実のため、佐藤孝（兼担/教授）が単独で担当する予定であった「病理学概論」の担当教員に及川浩樹（兼担/講師）、阿保亜紀子（兼担/助教）を追加。
・教育課程の充実のため追加した自由科目「地域医療課題解決演習」の担当教員として佐藤洋一（兼担/教授・兼任/講師）、下沖収（兼担/教授）、髙橋智弘（兼担/助教）を追加。
・高橋和宏（兼担/准教授）退職に伴う就任辞退により、後任補充予定としていた「疾病論Ⅲ」の担当教員として天野博雄（兼担/教授）を追加。
・昇任に伴い、肥田圭介（兼担/准教授）の職名を「教授」に変更。
・昇任に伴い、相澤文恵（兼担/准教授）の職名を「教授」に変更。教授就任による定年延長に伴い、兼任/講師を削除。
・昇任に伴い、田中良一（兼担/講師）の職名を「教授」に変更。
・昇任に伴い、帖佐直幸（兼担/講師）の職名を「准教授」に変更。
・昇任に伴い、西谷直之（兼担/准教授）の職名を「教授」に変更。
・教育内容充実のため、内藤雪枝（兼担/助教）を「ｱﾄﾞﾊﾞﾝｽﾄ生物」の担当教員に追加。
・授業運営上の都合により、「自然・文化人類学」の阿部博和（兼担/助教）担当分を内藤雪枝（兼担/助教）に変更。
・工藤裕子（兼任/講師）の就任辞退により、「多職種連携のためのｱｶﾃﾞﾐｯｸﾘﾃﾗｼｰ」の担当教員を内藤雪枝（兼担/助教）に変更。
・ﾍｲﾐｯｼｭ ｽﾐｽ（兼任/講師）の就任辞退により、「English Speaking & Listening」の担当教員をｱﾝﾄﾞﾘｭｰ ﾊﾘｽ（兼任/講師）に変更。
・久保田美恵子（兼任/講師）の就任辞退により、「医療とｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」の共同担当分を平林香織（兼担/教授）単独担当分に変更。
・教育内容充実のため、高橋昇（兼任/講師）を「臨床心理学」の担当教員に追加。
・教育内容充実のため、長澤昌子、竹内可愛、萬徳孝子、菅野綾子（いずれも兼任/講師）を「緩和ケア論」の担当教員に追加。
・授業運営上の都合により、「自然・文化人類学」の担当教員に飛内悠子（兼任/講師）を追加。

【令和元年度】

・秋山直美（専任/講師）の所属異動並びに教育体制の更なる充実のため、宮本郁子（専任/教授）と岩渕光子（専任/講師）が就任（平成30年8月及び12月教員審査済み）。
・教育内容充実のため、藤原弥生（専任/助教）の担当科目に「基礎看護学実習Ⅰ」を追加（平成30年8月教員審査済み）。
・留意事項５への対応に伴う教育内容の見直しにより、相澤文恵（兼担/教授）を「公衆衛生看護方法論」の担当教員に追加。
・昇任に伴い、吉岡邦浩（兼担/准教授）の職名を「教授」に変更。
・昇任に伴い、田島克己（兼担/准教授）の職名を「教授」に変更。
・昇任に伴い、藤原尚樹（兼担/准教授）の職名を「教授」に変更。
・昇任に伴い、大塚幸喜（兼担/講師）の職名を「准教授」に変更。
・昇任に伴い、新田浩幸（兼担/講師）の職名を「准教授」に変更。
・昇任に伴い、髙橋智弘（兼担/助教）の職名を「講師」に変更。
・昇任に伴い、藤澤美穂（兼担/助教）の職名を「講師」に変更。
・雇用期間の延長に伴い、久慈昭慶（兼担/准教授・兼任/講師）の兼任/講師を削除。
・平林香織（兼担/教授）の退職による就任辞退並びに教育内容充実のため、肥田圭介（兼担/教授）、古山和道（兼担/教授）、村木靖（兼担/教授）、増田友之（兼担/教授）、前沢千早（兼担/教授）、森川和政（兼担/教授）、千葉俊美（兼担/教授）、小澤正吾（兼担/教授）、奈良場博昭（兼担/教授）、遠藤寿一（兼担/教授）、近藤ゆき子（兼担/講師）、髙宮正隆（兼担/講師）、高田亮（兼担/講師）、廣瀬清英（兼担/講師）、小松真（兼担/講師）、相澤純（兼担/助教）、衣斐美歩（兼担/助教）、横田聖司（兼担/助教）、川崎靖（兼担/助教）、左京智子（兼担/助教）、藤田融（兼担/助教）、牛島弘雅（兼担/助教）、手塚優（兼担/助教）、平舩寛彦（兼担/助教）、寒河江康朗（兼担/助教）、小田泰行（兼担/助教）、長谷川大（兼担/助教）、柳谷千枝子（兼担/助教）、大沼仁美（兼担/助教）を「チーム医療リテラシー」の担当教員に追加。
・寺山靖夫（兼担/教授・兼任/講師）退職に伴う就任辞退のため、「疾病論Ⅳ」の担当教員を工藤雅子（兼担/講師）に変更。
・教育内容充実のため、佐々木真理（兼担/教授）を「医学・医療入門」の担当教員に追加。
・水野大（兼担/准教授）退職による就任辞退に伴い、「疾病論Ⅱ」の担当教員を小林めぐみ（兼担/助教）に変更。
・教育内容充実のため、藤原弘之、富永綾（いずれも兼担/助教）を「災害医療論」の担当教員に追加。
・本多好郎、豊澤博幸（いずれも兼任/講師）の就任辞退により、「健康運動科学」の担当教員を谷藤玲二、畠山健（いずれも兼任/講師）に変更。
・教育内容充実のため、内藤雪枝（兼担/助教）を「ベーシック生物」及び「スタンダード生物」の担当教員に追加。
・平林香織（兼担/教授）の退職による就任辞退に伴い、「多職種連携のためのアカデミックリテラシー」の担当教員を髙橋史朗（兼担/教授）に、「文学の世界」の担当教員を塩谷昌弘（兼任/講師）にそれぞれ変更し、藤澤美穂（兼担/講師）、塩谷昌弘（兼任/講師）、大関信隆（兼任/講師）を「医療とコミュニケーション」の担当教員に追加。
・平林香織（兼担/教授）の退職による就任辞退並びに佐藤洋一及び安田敏明（いずれも兼任/講師）の就任辞退に伴い、高橋栄子、佐々木勝忠、竹村祥子、高橋智幸（いずれも兼任/講師）を「医療と福祉」の担当教員に追加。
・教育内容充実のため、出羽厚二（兼担/教授）、藤澤美穂（兼担/講師）、柳谷千枝子（兼担/助教）、佐藤洋一（兼任/講師）、熊谷治子（兼任/講師）、亀田政則（兼任/講師）、中島淳子（兼任/講師）を「医療と物語」の担当教員に追加。
・教育内容充実のため、柳谷千枝子（兼担/助教）、中島淳子（兼任/講師）を「パーソナリティ心理学」の担当教員に追加。
・教育内容充実のため、石垣泰（兼担/教授）、森川和政（兼担/教授）、千葉俊美（兼担/教授）、髙橋寛（兼担/教授）、熊谷章子（兼担/准教授）、松浦誠（兼担/准教授）を「地域医療課題解決演習」の担当教員に追加。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
12 名	6 名

（注）・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計（Ａ）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（Ｂ）
7	3	10	11	31	8	3	8	9	28
(7)	(2)	(5)	(4)	(18)					

現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計（Ｃ）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（Ｄ）
8	3	10	11	32	8	3	10	11	32
[1]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[1]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・<u>「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入</u>するとともに、［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。
（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（Ｂ））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（Ｃ））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授：65歳 教授以外：60歳 歳	6 名	8 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、
および、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入
し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{32}{31} = \boxed{103.22}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{6}{28} = \boxed{21.42}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況　**「該当なし」**

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由

合計（D）				後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	講師	秋山　直美	H31.3	必修	地域看護学展開論	①	平成31年4月1日付け所属異動に伴い、本学医学部の専任教員となったため（元）
				必修	在宅看護方法論	①	
				必修	在宅看護学演習	①	
				必修	看護研究	①	
				必修	基礎看護学実習Ｉ	①	
				必修	在宅看護学実習	①	
				必修	統合看護実習	①	
				選択	公衆衛生看護方法論	①	
				選択	公衆衛生看護展開論	①	
				選択	公衆衛生看護管理論Ｉ	①	
				選択	公衆衛生看護学実習	①	
				自由	看護研究実践演習	①	

合計（F）				後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
1　人	必修	7	科目	必修	7	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	1	科目	自由	1	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
1　人	必修	7	科目	必修	7	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	1	科目	自由	1	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目	計	0	科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{\text{(3)－③合計(D)+(F)}}{\text{(2)－②設置時の計画(A)}} = \frac{1}{31} = \boxed{3.22}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況　**「該当なし」**

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由

合計				後任補充状況の集計								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）　専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

秋山講師の所属異動への対応および教育体制の更なる充実を図るため、平成30年9月1日付けで教授１名と平成31年4月1日付けで講師１名を採用した。また、当該教員が担当することとしていた授業科目については、新たに採用した２名の教員を含む他の専任教員に交代するためAC教員審査を受審し、全員「可」の判定を受けている。学生に対しては、年度当初のガイダンス時や当該科目の開講時にシラバスを用いて専任教員の交代について周知を図っており、履修等への影響はないと考えている。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の実施計画
認　可　時 （平成２８年）	１．学生への履修指導に当たっては、科目区分「看護専門科目」、「発展科目」、「公衆衛生看護学関連科目群」及び「助産看護学関連科目群」の相互の関連性を踏まえて適切に行うこと。また、学生の主体的な科目履修を促すためにも、学生に対して、これらの科目区分の位置付けを十分に周知すること。	留意事項	1～3学年の学生に対し、年度当初のガイダンスにおいて、履修制度はもとより科目構成の考え方や科目区分の位置付けおよび選択科目の履修方法等を学生に十分に説明するとともに、シラバス（教育要項）にも掲載しているカリキュラムマップや履修科目一覧等により、科目区分相互の関連性を明確に提示した。また、保健師養成課程および助産師養成課程の履修者に対するガイダンスも実施し、各養成課程における教育内容の説明を行った。このほか、オフィスアワーを広く設定するとともに、クラス担任制度やキャンパスサポーター制度等、学生が教員に質問や相談を行いやすい体制が構築されており、個別履修指導にも対応している。なお、学生へのガイダンスは、次年度以降も各学年・各養成課程において同様に実施することとしている。	履行済	
認　可　時 （平成２８年）	２．保健師や助産師の資格取得のための履修者選抜時期や結果通知の時期は、在学生と編入学生の公平性を図るため編入学試験の時期に合わせて同時に行うという計画であるが、これらの時期は、在学生と編入学生それぞれの学修の進度に応じた適切な時期を設定するべきであり、同時期とすることは適切ではないことから、公平性の確保に留意しつつ、再度検討すること。	留意事項	保健師や助産師の資格取得のための選択履修科目が3年次から開講されることに鑑み、在学生は2年次後期定期試験終了時にそれぞれの選考を行った。編入学生については、編入学試験の時期にそれぞれの定員を設定して選考を行う予定としていたが、平成30年度は志願者がいなかったため、選考を行っていない。なお、出願から結果通知の時期等に関する具体的なスケジュールを定め、選考方法、履修者数のほか志願理由書の様式等も併せて年度当初のガイダンス時に在学生に説明を行ったほか、編入学生に対しては、入試要項やホームページ等により、選考方法等の周知徹底を図っており、今後も同様の時期に履修者の選考を実施することとしている。	履行済	
認　可　時 （平成２８年）	３．科目区分「在宅看護学」に、分野の異なる地域看護学に関する授業科目を配置するのは不適切であるため、地域看護学に関する科目区分を新たに設けるか、科目区分「在宅看護学」の名称を地域看護学が含まれる名称に改めること。	留意事項	科目区分を「在宅看護学」から「在宅・地域看護学」に変更し、学則の別表を改正した。なお、当該変更に係る手続きとして、看護師学校等変更承認申請書の提出（平成29年8月承認済）および学則変更の届出（平成28年12月提出）を行った。	履行済	

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の 実施計画
認　可　時 （平成２８年）	４．「基礎看護学実習Ⅱ」に、これまでの教育内容に加え、新たに基本的な看護過程の展開を学ぶ内容を追加したにもかかわらず、授業時間数、実習施設、学生の配置計画、実習スケジュール及び教員の指導体制が追加前と同様であるため、追加された教育内容に見合った教育が可能であるのか不明確である。そのため、追加した教育内容に対応可能な授業時間数や実習施設の確保、学生の配置計画、実習スケジュール、教員の指導体制となるよう実習計画を適切に改めること。その際は、「基礎看護学実習Ⅰ」と「基礎看護学実習Ⅱ」の単位数の比率についても、両者の授業内容に見合ったものとなっているか再度見直すこと。	留意事項	「基礎看護学実習Ⅱ」の期間を1週間から2週間に変更するとともに、実習施設、学生の配置計画、実習スケジュールおよび教員の指導体制の見直しを図り、「基礎看護学実習Ⅰ」の単位数を2単位から1単位へ、「基礎看護学実習Ⅱ」の単位数を1単位から2単位へそれぞれ変更した。また、「基礎看護学実習Ⅱ」の教育体制の充実を図るため、新たに専任教員3名を追加した。なお、当該変更に係る手続きとして、看護師学校等変更承認申請書の提出（平成29年8月承認済）、担当教員3名のAC教員審査の受審（平成29年8月全員判定「可」）ならびに学則変更の届出（平成28年12月提出）を行った。	履行済	
認　可　時 （平成２８年）	５．看護師、保健師及び助産師の国家試験受験資格に係る科目のうち、共通する内容を教授するものについては、必要に応じて科目の統合や授業内容の調整を行い、学生の負担の軽減に努めること。	留意事項	看護師、保健師及び助産師の国家試験受験資格に係る科目のうち、共通の内容を教授する科目の統合や授業内容の調整を行った結果、公衆衛生看護学関連科目群の3科目（公衆衛生看護方法論、公衆衛生看護展開論、公衆衛生看護管理論Ⅰ）をそれぞれ2単位から1単位に、助産看護学関連科目群の3科目（助産学概論、助産診断技術学Ⅱ、助産診断技術学Ⅴ）をそれぞれ2単位から1単位に変更し、学生の負担の軽減を図った。なお、当該変更に係る手続きとして、看護師学校等変更承認申請書の提出（平成30年9月承認済）、担当教員11名のAC教員審査の受審（平成30年8月及び12月全員判定「可」）ならびに学則変更の届出（平成30年9月提出）を行った。	履行済	
認　可　時 （平成２８年）	６．教員の補充を必要とされた１授業科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。	留意事項	教員の補充を必要とされた１授業科目について、専任教員1名がAC教員審査を受審し、平成29年8月に「可」の判定を受けた。これにより、科目開講時（令和2年度）までに専任教員を配置することができた。	履行済	

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の 実施計画
認　可　時 （平成２８年）	７．完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項	完成年度後の後任者は、適正で厳格な審査による内部昇格や公募、本学附属病院との人事交流等により採用し、教育研究活動の活性化および教育研究水準の維持向上に努めることとしており、教授会に設置している人事教授会により、看護学部の将来構想を踏まえた専任教員の中長期的採用計画を策定することとしている。平成29年度は人事教授会を4回、平成30年度は6回開催し、教員選考に関する諸規程を整備する等、後任者確保に向けた基盤構築を図ったほか、教員組織の将来構想に関する議論を重ねた。このほか、看護学教育を取り巻く環境の変化に対応した教育課程の編成や学部の継続的な発展を見据え、人事案件に限らず、取り組むべき課題や検討事項等を専門的に議論するため、教授会に「看護学部将来構想検討WG」を設置した。	履行中	看護学部将来構想検討WGにおける総合的な観点からの検討を踏まえ、人事教授会において、専任教員の年齢構成バランスに留意した、より具体的な中長期的採用計画を策定し、令和元年度から完成年度後の後任者確保に着手する。

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜看護学部　看護学科＞

（１） 設置計画変更事項等　　**「該当なし」**

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ 委員会の設置状況

◆全学教育推進機構委員会　　※資料１：全学教育推進機構規程　　※資料２：全学教育推進機構委員会規程

本学には、全学的教育施策の企画および学部間の連携・横断教育を推進する全学教育推進機構が設置されており、所掌する事項を審議する機関として全学教育推進機構委員会が組織されている。同委員会では、全学的なＦＤ等の企画・実施、授業評価ならびにシラバスの第三者チェックによる相互評価等、教員の資質の維持向上に関する審議も行っている。

◆看護学部教務委員会および教育評価・研修部会　　※資料３：看護学部教務委員会規程

看護学部教授会に看護学部の教務全般を所掌する教務委員会を設置している。同委員会には、授業評価に関する事項、認証評価等の実施および報告書に関する事項、教員ＦＤ（ＷＳ 、シンポジウム等）に関する事項ならびに教育関連会議の情報収集および教員派遣に関する業務を専門的に担当する教育評価・研修部会が置かれている。

ｂ 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

◆全学教育推進機構委員会

原則として月１回開催するほか、必要に応じて臨時に開催することとしており、令和元年５月１日現在の開催状況は以下のとおりである。

＜平成30年度＞
- 第１回　平成30年５月10日（木）　＜参加者：本学教員10名（うち看護学部教員２名）＞
- 第２回　平成30年６月21日（木）　＜参加者：本学教員11名（うち看護学部教員２名）＞
- 第３回　平成30年６月28日（木）　＜参加者：本学教員11名（うち看護学部教員２名）＞
- 第４回　平成30年７月12日（木）　＜参加者：本学教員９名（うち看護学部教員１名）＞
- 第５回　平成30年８月30日（木）　＜参加者：本学教員７名＞
- 第６回　平成30年９月27日（木）　＜参加者：本学教員９名（うち看護学部教員２名）＞
- 第７回　平成30年10月25日（木）　＜参加者：本学教員11名（うち看護学部教員２名）＞
- 第８回　平成30年12月20日（木）　＜参加者：本学教員７名（うち看護学部教員１名）＞
- 第９回　平成31年１月31日（木）　＜参加者：本学教員７名（うち看護学部教員１名）＞
- 第10回　平成31年３月６日（水）　＜参加者：本学教員11名（うち看護学部教員２名）＞

＜平成31年度＞
- 第１回　平成31年４月25日（木）　＜参加者：本学教員10名＞

◆看護学部教務委員会

原則として毎月第２火曜日に開催するほか、必要に応じて臨時に開催することとしており、令和元年５月１日現在の開催状況は以下のとおりである。

＜平成30年度＞
- 第１回　平成30年４月10日（火）　＜参加者：看護学部教員５名、教養教育センター教員１名＞
- 第２回　平成30年５月８日（火）　＜参加者：看護学部教員５名、教養教育センター教員１名＞
- 第３回　平成30年６月12日（火）　＜参加者：看護学部教員４名＞
- 第４回　平成30年７月10日（火）　＜参加者：看護学部教員５名、教養教育センター教員１名＞
- 第５回　平成30年８月２日（木）　＜参加者：看護学部教員５名＞
- 第６回　平成30年９月11日（火）　＜参加者：看護学部教員５名、教養教育センター教員１名＞
- 第７回　平成30年10月16日（火）　＜参加者：看護学部教員５名、教養教育センター教員１名＞
- 第８回　平成30年11月13日（火）　＜参加者：看護学部教員５名、教養教育センター教員１名＞
- 第９回　平成30年12月11日（火）　＜参加者：看護学部教員５名＞
- 第10回　平成31年１月８日（火）　＜参加者：看護学部教員５名、教養教育センター教員１名＞
- 第11回　平成31年２月６日（水）　＜参加者：看護学部教員５名、教養教育センター教員１名＞
- 第12回　平成31年３月４日（月）　＜参加者：看護学部教員５名＞
- 第13回　平成31年３月12日（火）　＜参加者：看護学部教員４名＞

＜平成31年度＞
- 第１回　平成31年４月９日（火）　＜参加者：看護学部教員５名、教養教育センター教員１名＞

◆教育評価・研修部会
必要に応じて開催することとしており、令和元年５月１日現在の開催状況は以下のとおりである。

＜平成30年度＞
- ・第１回　平成30年４月４日（水）　＜参加者：看護学部教員６名、教養教育センター教員１名＞
- ・第２回　平成30年８月１日（水）　＜参加者：看護学部教員５名、教養教育センター教員１名＞
- ・第３回　平成30年８月30日（木）　＜参加者：看護学部教員６名、教養教育センター教員１名＞
- ・第４回　平成30年12月５日（水）　＜参加者：看護学部教員５名、教養教育センター教員１名＞
- ・第５回　平成31年２月４日（月）　＜参加者：看護学部教員６名、教養教育センター教員１名＞

＜平成31年度＞
- ・第１回　平成31年４月17日（水）　＜参加者：看護学部教員７名、教養教育センター教員１名＞

ｃ　委員会の審議事項等

◆全学教育推進機構委員会（抜粋）
- ・　全学教育推進機構FDワークショップに関すること
- ・　全学教育推進機構FD・SD講習会に関すること
- ・　多職種連携PBLワークショップに関すること
- ・　学修支援アンケートに関すること
- ・　シラバス作成要領およびシラバス第三者チェックに関すること

◆看護学部教務委員会および教育評価・研修部会（抜粋）
- ・　看護学部FDワークショップに関すること
- ・　助手を対象とした研修（助手指導年間計画）に関すること
- ・　看護学部授業評価に関すること
- ・　教養教育センター授業評価に関すること

②　実施状況

ａ　実施内容

Ⅰ．看護学部主催研修会
- ・　ルーブリックの作り方に関する研修会（評価の基礎知識、さまざまな評価方法、ルーブリックの作成法、グループワーク、発表）
- ・　現代の若者の学びの傾向や特徴を理解し、効果的な実習を展開するため研修会（今どきの学生の理解、指導者としての心構え、実習指導のコツ、グループワーク・発表）
- ・　PBL（課題解決型学習）に関する研修会（岩手大学enPiTプロジェクトの概要、ブレインライティングシート、ハイライト法、プレゼンテーション）
- ・　助手が実習指導に必要な知識や技術を習得し、学生指導に求められる能力を身に付けることを目的とした研修

Ⅱ．看護学部以外の学内部署主催研修会等
- ・　新規採用となった助教・助手を対象とした本学の教育現状に関する講習会
- ・　学生支援に関する研修会
- ・　適切な成績評価と質保証に関する研修会
- ・　授業改善とシラバス作成に関する研修会

Ⅲ．いわて高等教育コンソーシアム主催研修会等
- ・　授業評価アンケートの自由記述の分析に関する研修会
- ・　教学IRに関する研修会およびシンポジウム

※「いわて高等教育コンソーシアム」は、国際通用性や教育の質保証など、大学を取り巻く状況、低迷する大学進学率や県内就職率などの地域的課題に対応するため、いわて５大学学長会議参加校が連携を強化し、地域の中核を担う人材育成を目指すことを目的に設立され、本学は、FD・SD活動を推進する「FD・SD連携推進委員会」の主務校として参画。

ｂ　実施方法

事前に策定する実施計画に基づき、講演・グループワーク・個別ガイダンス等の形式で実施している。また、必要に応じて看護系大学の協会や協議会等が主催する研修会へ積極的に参加したほか、録画した研修会動画のweb視聴も活用し、自己研鑽の機会を設けた。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

Ⅰ．看護学部主催研修会

（１）FDワークショップ

・平成30年度第1回看護学部FDワークショップ
- ■開催日：平成30年7月7日（土）
- ■テーマ：成績評価の方法　－ルーブリックの作り方－
- ■参加者：看護学部教員25名、看護学部就任予定教員3名、医学部教員1名、教養教育センター教員2名

・平成30年度第2回看護学部FDワークショップ
- ■開催日：平成30年10月30日（火）
- ■テーマ：いまどきの学生と実習指導
- ■参加者：看護学部教員24名、看護学部就任予定教員3名、医学部教員1名、附属病院看護部職員10名

・平成30年度第3回看護学部FDワークショップ
- ■開催日：平成31年1月29日（火）
- ■テーマ：理工系に学ぶPBL（課題解決型学習）　～岩手大学におけるenPITの取り組み～
- ■参加者：看護学部教員24名、 看護学部就任予定教員4名、教養教育センター教員1名

・平成31年度第1回看護学部FD
- ■開催日：平成31年4月24日（水）
- ■テーマ：学生による授業評価結果を活用した授業改善および授業設計について
- ■参加者：看護学部教員30名

（２）助手を対象とした研修（年間を通して複数回の研修を実施）
■目　的：臨地実習を円滑に進めるための支援が行える助手の育成
■内　容：大学、学部の教育理念・方針・目標・授業内容等のオリエンテーション、臨地実習における助手の役割の理解、研究活動に関する研修、領域別実習指導計画検討への参画 等
■参加者：看護学部に在籍する助手

Ⅱ．看護学部以外の学内部署主催研修会等
・全学教育推進機構FD講習会（主催：全学教育推進機構）
■開催日：平成30年4月2日（月）
■テーマ：岩手医科大学の教育現状と今後の展望について
■参加者：本学新任教員15名（うち看護学部教員4名）

・学生支援に関するFD、SD研修会（主催：教養教育センター学生専門委員会、キャンパスサポーター）
■開催日：平成30年6月29日（金）
■テーマ：あれ？大丈夫？と心配になる独特な学生の理解と対応
■参加者：本学教員24名（うち看護学部教員2名）

・全学教育推進機構FD・SD講習会（主催：全学教育推進機構）
■テーマ：学修成果の評価検証方針及び指針－適切な成績評価と質保証－
■開催日：平成30年9月28日（金）
■参加者：本学教員27名（うち看護学部教員1名）

・全学教育推進機構FD・SD講習会（主催：全学教育推進機構）
■テーマ：授業改善とシラバス記載
■開催日：平成30年11月12日（月）
■参加者：本学教員212名（うち看護学部教員19名）

・全学教育推進機構FD講習会（主催：全学教育推進機構）
■開催日：平成31年4月1日（月）
■テーマ：岩手医科大学の教育現状と今後の展望について
■参加者：本学新任教員36名（うち看護学部教員5名）

Ⅲ．いわて高等教育コンソーシアム主催研修会等
・いわて高等教育コンソーシアムFD・SD研修会
■開催日：平成30年8月31日（金）
■テーマ：アンケートの自由記述を分析する：テキストマイニング入門
～トピックモデルを用いた授業評価アンケートの自由記述の分析～
■参加者：教員40名（うち本学看護学部教員6名）

・いわて高等教育コンソーシアムシンポジウム
■開催日：平成31年2月9日（土）
■テーマ：教学マネジメントのためのエビデンスとしての教学IRの役割
■参加者：教員23名（うち本学看護学部教員8名）

・いわて高等教育コンソーシアムFD・SD研修会
■開催日：平成31年3月7日（木）
■テーマ：「教育を変えるIR」ワークショップ
■参加者：教員15名（うち本学看護学部教員5名）

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

看護学部が主催した研修会の概要や配布資料、事後アンケートの集計結果等については、「平成30年度看護学部教員研修会報告書」として取りまとめ、看護学部全教員に配布し振り返りを行った。これにより、恒常的な教育内容および教育方法の見直し・改善に役立てることとしている。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

＜実施状況＞
■平成30年度看護学部第1学年開講科目（実施率100%）
・前期　教養6科目、専門5科目、他学部合同18科目
・後期　教養3科目、専門8科目、他学部合同 7科目
・通期　教養2科目、専門2科目
■平成30年度看護学部第2学年開講科目（実施率100%）
・前期　教養1科目、専門16科目
・後期　専門11科目

授業評価アンケートの実施時期は、原則として各科目の最終授業日としている。

ｂ　教員や学生への公開状況、方法等

実施状況や集計結果は各種会議等で報告されたほか、教員や学生へのフィードバック等を目的として、学内向けホームページへの掲載等を行った。また、当該年度において評価の高い教員個人および科目に対する顕彰を行った。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項　　**「該当なし」**
※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

①　体制
ａ　委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

ｂ　委員会の開催状況（回数や開催日など）

ｃ　委員会の審議事項等

ｄ　その他

②　審議状況
ａ　審議した内容

記入例）
・　地域との連携に関する○○の観点から教育課程に対する提案内容
・　産業界との連携に関する○○の観点から教育課程に対する提案内容

ｂ　教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

ｃ　教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

（４） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設２年目の平成30年度は、第２期生として93名（入学定員90名）の新入生が入学したほか、教員組織編制の面では、9名の専任教員（うち助手2名）が着任した。教育課程の実施にあたっては、カリキュラム・ポリシーに基づき配当した１・２年次の授業科目を全て開講し、IPE（多職種連携教育）関連科目を含む教養教育科目、看護専門基礎科目ならびに看護専門科目における実践的かつ体系的な学修を通じて、３年次以降に開講する各専門分野の臨地実習に必要な基礎的知識、態度および技術の習得を図った。キャリア教育においては、各学年の年度当初に開催した進路総合ガイダンスのほか、現役の看護師・保健師・助産師による職種別講演会や夏休み期間を利用した岩手県内の病院や介護施設等における看護体験や地域医療の現場で活躍する看護職員との交流セミナーを通じて、低学年から進路意識の醸成を図っており、段階的に働くことの意義や心構えを習得する機会を設けた。学生支援の面では、クラス担任による個人面談や出席不良者への個別対応をはじめ、1年次の授業科目を担当する教養教育センター教員を中心に構成される「キャンパスサポーター」や健康管理センターに常駐する臨床心理士および保健師による相談・指導体制を構築しており、学生が学業に専念し、安定した学生生活を送れるよう組織的なサポートを行った。このような状況の下、アセスメント・ポリシーに定める厳格な成績評価による判定の結果、第１学年および第２学年の在学生全員が所定の要件を満たし進級を果たした。本学の教育理念である「誠の人間の育成」に立脚し、医療人として身に付けるべき素養の礎を着実に築いている。

また、本学は、教育・研究・診療活動の向上を図る見地から、「岩手医科大学自己評価委員会」を組織しており、建学の精神に基づく全学的な教育研究活動等の状況を自ら点検および評価を行っている。この他、当委員会では、平成29年度に看護学部を含む本学の教育・研究・診療および管理運営等に関する方針および方針に基づく今後の展望を「岩手医科大学運営方針と中長期展望2017-2026」として策定している。一方、看護学部では、教授会の下に設置した「看護学部自己評価委員会」において、教育研究活動等に関する自己点検・評価のほか、設置の趣旨や目的の達成状況に関する評価と改善方法等の議論を行った。平成30年度における看護学部の取組状況の点検・評価結果については、「自己点検評価報告書」として取りまとめており、年度毎にPDCAサイクルのどの位置にいるかを認識し、次年度以降の改善状況を明確化することとしている。なお、報告書の内容については、今年度中に開催される岩手医科大学自己評価委員会で評価を受ける予定である。

今年度の学生受入れにおいては、アドミッション・ポリシーに則り、オープンキャンパスや進学相談会、高校訪問等の学生募集活動を積極的に展開し、第３期生として90名の入学生を受入れた。開設年度以降の平均入学定員超過率は、1.02倍と適正な定員管理を行っており、学修環境ならびに教育の質の保証を図っている。

以上の取組みを継続することで設置計画に基づいた学部運営を推進するとともに、医学部・歯学部・薬学部に加え附属病院を併設する医療系総合大学としての教育研究資源を最大限に活用し、総合的でバランスのとれた看護専門職者の養成に努めることとしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和元年8月30日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開する予定

③ 認証評価を受ける計画

平成25年度には、学校教育法に基づく認証評価を第三者評価機関である公益財団法人大学基準協会において受審し、教育研究水準ならびにその組織、施設設備、社会への貢献および管理運営等について「大学基準に適合している。」と認定された。認定の期間は令和３年３月31日までであり、令和２年度に次回の認証評価（公益財団法人大学基準協会）を受審する予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（５） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ ㊒ ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年6月28日（予定） ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。